

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設(1-34)、MOX施設(1-34)）」

2. 日時：令和3年6月11日(金) 13時30分～18時30分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、中川上席安全審査官、田尻安全審査官、大岡安全審査
専門職、高梨安全審査専門職、清水係員

日本原燃株式会社 村野 理事 再処理事業部副事業部長 他12名

東京電力ホールディングス株式会社 サイクル技術グループ
チームリーダー

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門

原燃計画グループリーダー 他1名

中部電力株式会社 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 課長

北海道電力株式会社 原子力事業統括部 原子燃料サイクルグループ
グループリーダー他2名

三菱重工業株式会社 原子力セグメント 安全高度化対策推進部
主観プロジェクト統括

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っております。

6. その他

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和2年12月24日)

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和 2 年 12 月 24 日）

「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html

- ・ 令和 3 年 6 月 4 日

「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設及び濃縮施設の設工認申請に関する資料提出」

- ・ 令和 3 年 6 月 9 日

「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい。
0:00:01	注意事項、規制庁シミズです注意事項説明しますと鬼沢児童文字起こしによりヒアリング使用者作成するため発案する作用名前と所属を述べて来るとびっくり多発をお願いします。また、マスク情報発話しないようお願いいたします。また社債はその場で教えてください。
0:00:20	それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:24	本日のヒアリング或いは2年12月24日に申請があった設工認申請について、
0:00:31	幾ばくか通用緑化等6月9日に提出のあった資料をもとにヒアリングにて事実確認を行うものになります。まずは規制庁側の出席者を紹介します。
0:00:43	本町会議室の出席しつつ、本町会議室からタジリ等、WEBからコサク、ナカガワオオオカ
0:00:54	タカナシシミズです。では日本原燃のほうから出席者の紹介及びラインの構成の説明をお願いします。
0:01:04	はい。予定と日本原燃のエビナです。本日の出席者は再処理のほうからムラノ、ナガサワ、タカハシとしてエビナオオハシ、森末、斎藤。
0:01:20	サカモリ。
0:01:22	あとハラダ、タナカとなっております。アポはですねええとMOXのほうからは、タニグチ、A1からトクナガとなっております。あとはですね本日メーカーの出席者もおりまして、MHI
0:01:40	それから、マツモトでIHIから渡辺といった出席者となっております。本日の資料ですが、外貨04の航空機墜落による火災の防護設計についてというものと、あとはじゅ
0:01:58	海外から14の航空機墜落火災等、敷地内危険物貯蔵施設等の火災の貯蔵についてということで説明いたします。ロジックペーパーも提出しておりますが、そういったものを用いて説明することがあると思います。はい、それでは、
0:02:17	生協タジリです。すいません。それと外貨04だけが6月9日提出でほかは6月4日提出ということでよろしかったですかね。それでよろしいですはいわかりましたお願いしますはい通常させていただきます。
0:02:34	どうぞ。
0:02:37	日本原燃の橋でございます。本日ヒアリングの名義の資料になってます。外貨04の資料ですけどもこちらは兄ちゃん6月の4日に提出をしております、
0:02:53	その後ちょっと中身に誤記等がございましたのでそれを修正した上で6月の9日に再度提出をさせていただいております。

0:03:02	ただそのあとまたヒアリングの準備をしていく中で、何ヶ所かその誤記があるところでは確認しております、そういったところについても本日の指摘も踏まえてですね、修正してきていく中でさらに修正は加えたいというふうに思っております。
0:03:25	それから、中身について提出している資料の中身については記載の通りですので、特にこのValue説明というのはないんですが、ちょっと一部補足的に資料作成しているものがありますのでそちらについてちょっと説明させていただきます。
0:03:55	きっと。
0:04:05	はい。日本連の斎藤でございます。今画面共有させていただいている資料につきまして、一通り説明させていただきます。
0:04:14	まずワードの1枚紙ですが、大臣認定試験と航空機墜落火災対策の耐火試験との比較ということを整理しております。
0:04:25	航空機墜落火災対策で用いる耐火被覆は大臣認定をして、大臣認定を取得している耐火被覆と同じ製品を用いております。航空機墜落火災対策の被覆厚さを設定するための比熱と熱伝導率の設定には大臣ですから、結果を用いております。
0:04:43	ここでは大臣認定試験と航空機墜落火災の耐火試験について比較しております。まず試験条件についてですが、大臣認定試験を防耐火性能試験評価業務方法書に規定された方向で実施しております。
0:05:00	耐火被覆厚さを設定するために用いた大事に決し検討耐火試験の条件を比較すると、1枚目の下の表のようになります。
0:05:12	こちらの表で左の大臣認定試験につきましては、まず加熱条件としては、試験体を加熱炉内に設置し、炉内温度をISO標準加熱曲線のもととなるように加熱しております。一方で、我々の行っている耐火試験につきましては、試験体をして加熱炉
0:05:32	に設置して試験体表面が航空機墜落火災の好きな部材が受ける輻射強度相当となるように、照射をしております。
0:05:41	加熱時間につきましては、大臣認定試験が認定区分によって30分1時間2時間と設定されている一方で、我々のこの耐火試験では燃焼継続時間により、1400秒約23分と設定しております。
0:05:57	後期判定につきましては、大臣認定試験が長期許容応力度に相当する応力度を再開をしながら加熱し、以下のようにですね収縮量やたわみ量が以下の値を書いているということを確認しております。

0:06:14	かじを再開しない場合にあつては、鋼材温度が最高 450 度平均温度が 350 度超えないことと、されております。我々の耐火試験におきましては、鋼材温度が安全の場合だと 325° へ波及的影響をおよぼし得る施設につきましては 450° Cを超えないこととしております。
0:06:34	試験体におきましては大臣認定試験のほうが圧損 9mmの 300×307 の各項に 2mmの改革被覆を施工しております。
0:06:46	これは、耐火試験では同じ厚さ 9 ミリなのですが平板
0:06:51	として耳の耐火被覆を施工しております。このようなタジリにて試験の耐火試験等で条件の違いがございます。
0:07:00	スズキ 1 枚 1 枚めくっていただきます。次のページいきますと、試験結果の比較となります。
0:07:07	二つの試験の鋼材温度の結果を比較することによって加熱条件について検討しました。耐火試験では 1400 秒後、1400 秒過熱した後に鋼材の温度は約 250° まで上昇しております。一方で、大臣認定試験につきましては、
0:07:24	こちら 1 時間耐火の 1 時間後の温度としては 470 度。
0:07:29	という結果になっております。功罪温度の違いから、試験条件は大臣認定試験のほうが厳しいものであるということが言えます。
0:07:39	次にですね、両試験の合格のクライテリアを比較しております。
0:07:45	大臣認定試験の合格のクライテリアは長期許容力度相当のサージをかけた状態の収缩量タウン量が一定値以下であるというということに対して耐火試験は、温度が 1.5 以下であるということ。
0:08:02	ですので、単純比較はできませんか。一方でですね、大臣認定試験では家上載化しない場合には、平均 350 度以下であることが合格のクライテリアとして設定されております。つまり外部火災防護対象施設の許容温度、325 度に
0:08:19	近いところで、大臣認定試験の広告のクリアやクライテリアも設定されているということで、両者が同等であるということが言えます。したがって、幼稚園は直接比較するものではないものの、僕のクライテリアが両者同等であつて、構造材の温度、
0:08:38	今の結果で比較した場合には、時間や加熱条件を含めた試験条件としては大臣認定試験のほうが厳しい、試験条件であるといえるを整理しております。
0:08:52	次にまた別の資料になるのですが、
0:08:56	いや、何か。
0:08:58	私起こしていただければ。
0:09:01	はい。
0:09:02	よこしたとか、

0:09:04	A4 横の
0:09:07	1 枚紙で整理しております。こちらの
0:09:12	耐火塗料などのメーカーの経営認定膜厚表と我々の対価塗装の対象としている冷却塔竜巻防護ネットの構成部材、
0:09:24	というものを照らし合わせたときに、どう設定されているかということをちょっと整理しております。左は第 1 回の申請の対象となっている冷却塔、
0:09:36	に負担する整理です。
0:09:39	この表自体はメーカーの認定活用なのですが、この黄色でハッチングされたところが実機で使われている部材と同じ先方のものになっております。
0:09:51	上から 175
0:09:55	175 の越地以降ですね、このH高が冷却塔の床張りが天井梁に使われているものなのですが、こちらについて柱で頭ではそれから柱であれば 3mm というとして
0:10:12	かつが必要だということとなっております。
0:10:18	続いて、同様にですが 200×100 の 1 項におきましては、こちら横はり天井梁映像上部柱となっておりますが、
0:10:27	こちらはりでありという整理であればの 2.5mm というものが求められる数であると。
0:10:34	ということになっております。
0:10:39	さらに下も同様です。右へと右につきましてはこちらも同じ表なのですが、竜巻防護ネットの場合を整理しております。と黄色くハッチングされたところが竜巻防護ネットの架構の
0:10:53	使用している部材になりまして、ガーダーのいずれも課題の部材、ものとなっております。こちらについても規定されている体格額の 9 月がありますと、
0:11:10	これがこれらのメーカーの活用によって求められている膜厚というものは、
0:11:20	このように整理されているということを確認しております。
0:11:27	とりあえず以上です。
0:11:31	規制庁オオオカです。説明ありがとうございました。これは結局はレジ認定試験を等々を整理していくにあたって、まずは社内で調査したという結果になるものと思いますので、
0:11:47	運転膜厚長って 1 時間とか 2 時間とかあると思うんですけど先ほどの試験の条件によって、これは 1 時間のものなんです。
0:11:59	日本原燃の斎藤です。1 時間のものです。

0:12:03	政調会ですっていうのは、僕気墜落火災用想定した場合に、1400 秒。いいからということで、まさに時間は 1 時間のところで、一方で、スタッフということをするね。
0:12:22	すべてカバー円筒その認定が 9 月よりも作っていますという説明ですよ。
0:12:34	うん。
0:12:36	キッツ、日本原燃エビナです。この件についてはまずなどで 1 時間なのかっていうと我々が持っているあの試験の結果というのが 1 時間、決してそれをその 1 時間の結果を参考に、
0:12:52	使ってますねその耐火塗装の耐火塗料のですね耐火被膜の電熱熱源熱伝達熱伝導熱伝導率常に熱伝導率を算出するというふうに使った
0:13:09	ものだったので日 1 時間で学生るということになりますんで、あとはですねこの耐か。
0:13:17	その厚さなんですけれども大臣認定のもので比較すると、当然その比較している事象が違うので、° 厚さがですね、暑かったリスク、薄かったりというふうにすべてが大臣認定より厚く塗装されているという、第 1 ではない。
0:13:38	上げる。
0:13:39	状態ではございません。はい。以上です。
0:13:43	規制庁からやっぱりそこは一番重要なところでして、日程は区長に照らし合わせても 1 時間のもうここでしっかりそのカバーできているとなれば、やはり大臣認定
0:13:56	に従う認定も活用に基づく厚さを担保しながらも、自分たちの設計で要件を満たしていますというようなことで整理がつくかと思いますが、全部を満たさない場合っていうのは、もう確認をされているんでしょうか。
0:14:20	日本原燃のエビナです。資料的にも記載しましたんですが、直接ですねその 1 時間耐火を航空機、火災の防護っていうのは、与える熱量だとか、あとは想定してる状況も
0:14:40	やはりその違いますし、あとは
0:14:44	時間も違うので、これは一概に 1 時間耐火を満たせなきゃいけないと、航空機防護するためのポンプ火災を防護するためには 1 時間耐火を満たせなければいけないというのではなくてですね、単純に一時かあ
0:15:03	ごめんなさい、航空機火災の方は今回火災の条件で、その火災継続時間を設定した場合に、その許容温度を超えないという評価をしたものになってます。一方で、

0:15:17	1時間耐火は1時間耐火としての考え方の中で必要な厚さっていうものを設定しているので、この厚さはどっちが厚いからいいというものではない。ただ、試験条件を比較すると、
0:15:35	大臣認定試験のほうが条件としては厳しい。
0:15:39	ということが整理されたということです。ですので、1時間。
0:15:44	パイプ対応にも、本来なら薄くていいんじゃないかというふうに我々は思っているところです。以上です。
0:15:55	規制庁オオオカです。その場合はもう
0:15:59	第1にて膜厚とかそういう材料は設工認情報も使わずに、
0:16:06	進めるという話になってしまいますけどそういう
0:16:11	音なんですと、
0:16:15	日本原燃のエビナです。何とかタイプか。
0:16:21	等量自体は同じものを使うんですがその膜厚の設定というのは、その膜厚表メーカーの、その1時間耐火のためのバックアップ表を使うのではなくて、弊社が定めた航空機火災に耐えるための
0:16:39	膜厚というので塗装を施工していくというふうなことになります。以上です。
0:16:48	規制庁オオオカです。
0:16:51	そう。
0:16:52	をすると国交省の耐火構造認定とか、そういうのが使えなくなるという意味ですよね。
0:17:03	日本原燃のエビナです。認定をとれたというふうな事実は適用できなくなりますとコサクです。はい、ちょっと論点をご認識されていないようなので、こちらの懸念事項をお伝えしますけど。
0:17:24	現在検討されているその耐火被覆の材料っていうのをアフターつつうするメーカーの要望で、
0:17:34	商品名ですかね、示されているんですけど、あの設工認でどういう材料として宣言していただくかと。
0:17:44	ということなんです。膜厚は数字で書かれるということなので、その妥当性は添付で説明してもらえばいいんですけど、材質について認定を受けたものということで、
0:17:58	書かれるのかなという想定のもとにお話ししたんですけど。
0:18:04	直接その認定と関係ないっていう話だとすると。
0:18:08	さてどうするのだろうか。
0:18:12	ということなんですよ。
0:18:16	あと、

0:18:16	はい。日本エヌエビナエス認定と関係ないというのはですね認定というのは、材料等、あとその厚さも含めてのページになっているので、そういった意味での直接的な関係はないんですが、
0:18:32	その材質POSペイ認定を取ってとってるものであるという事実はそこはそういった信頼のあるものですっていうのは変わらないと思っているのでそういう意味での任命は関係はしているものと考えてございます。以上です。
0:18:53	規制庁コサクですけど、それで認定をまずしかもこれはあれですね認定加熱時間だとする認定区分によりと違って言われると、どの区分の認定を受けたものかっていう話も整理しなきゃいけないと思うんですけど。
0:19:10	認定を受けたときの性能というのと、
0:19:15	この耐火試験で行ってるところの性能っていうのが確実にそれでイコールで包含関係 2＝というか包含された状態で担保できるのかといったところの関係性を説明いただきたいので、
0:19:32	単純にどっちのほうの方が厳しいとかってそういう話ではないんですよ。
0:19:39	そのあたりどう考えて整理を進めてますか。
0:19:49	日本原燃できないです。
0:19:53	思いますと、議員。
0:19:56	委員のその包含関係、そういう意味ではまずは今日お示した通り、1 時間耐火の方が条件と厳しいというふうに考えておりますので、
0:20:11	1 時間。
0:20:14	耐 1 たの認定
0:20:19	で、そしてすれば、
0:20:22	それは本分きついがあつた際、
0:20:26	の条件も包含できると。
0:20:31	いうふうな形になろうかと思えます。
0:20:35	続いてちょっとコサクですけども、厳しい厳しいって何のことで厳しいと言われているのかよくわからなくて、
0:20:45	受ける影響によって材質が性能劣化するとかっていうところが、
0:20:55	想定範囲内のことを十分大臣認定側が
0:21:02	包含した形で実証していると。
0:21:05	いうことでいいんでしょうか。この加熱時間は書いてあるものの加熱条件が余りに曖昧に書かれているので、
0:21:15	どう。
0:21:16	23 分が 1 時間だというだけでは、その辺りとかもよくわからないんですけど。
0:21:25	はい。日本原電の駅のです。また厳しい農業てるのはPaaS

0:21:34	どちらも同じように、
0:21:39	大臣認定の方では一般の火災によってビルなどが倒壊しないようなことを保証するようなものということで設定されているかと思います。一報を
0:21:57	我々のほうも二階をな、倒れないことであつたり、そういうことなんですが、想定している火災事象が違うので、一概に同じではなくて、やはりその想定が機微厳しいというか
0:22:15	材料
0:22:16	の加熱条件として厳しいものであつたり、唐突感が厳しい話にはなるかと思っ ているのでそういった意味で、先ほどの厳しいっていうことは発言しておいま した。はい。以上です。
0:22:35	規制庁コサクですけど、
0:22:38	加熱条件とかそっちのそのインプットの話と、あと合否判定もここは
0:22:45	荷重を再化しない場合っていうのはある程度似通った条件ではあるんですけ ど、
0:22:53	原燃の想定しているものは、
0:22:56	そういうこっちの方なのかそのとも上のほうの条件に本来関係するのかけ ていうのがよくわからなくてですね。
0:23:06	そういうところ踏まえながらインプット側と判定側取っていったところで条件が 違うので、
0:23:15	それぞれがどういう関係にあるのかっていうのをちゃんと整理をしていただき たいと。
0:23:21	いうところですのでその上で、材料の材質としては、この試験に合格したものであ れば、
0:23:33	原燃の採用する状況によって或いはこの後、かつを決めるときの評価条件と して、これだけも見込めると。
0:23:42	いうことで
0:23:47	条件を設定をして
0:23:50	設工認の本文としてセンゲン事項する検査の確認事項にすると。
0:23:56	いうところまでまとめていただきたいんですけど。
0:24:00	やるべきことっていうのは理解できました。
0:24:07	日本エヌエビナエスへとした試験条件も違いの整理に
0:24:16	をして、その上で、
0:24:21	どの、国交省でちゃんと日程が取れてる材料であれば、同じように採用できる というふうなことを

0:24:33	言ってというところまですいませんちょっと理解できたんですけどその先がちょっと私、すみません、理解できませんでした。申し訳ございません。
0:24:47	規制庁コサクです。今言われたのは、表現が違っているので、どこからどこがっていう感じでもないんですけど。
0:24:57	まず、
0:24:58	ちょっと認定の話はインプットと合否判定それぞれが条件が違うので、その関係性を明確にしないと。
0:25:08	その認定の材料であればいいということがまず
0:25:12	まずもって繋がってこないということなので、そこをまず整理をしてください。
0:25:18	その整理をしてその材料であれば、
0:25:24	膜厚を決めるための評価条件として、その条件設定の妥当性が説明できると。
0:25:30	いうことになれば、それによって
0:25:35	本文で何を書くべきかということが整理できるのかなと。
0:25:40	思っているというところですけど。
0:25:48	はい。日本原燃からです。承知しましたと。
0:25:55	まずはその認定っていうところでは相当材料でよいということにつなげるためのインプット条件インプット条件とか、その後キャンペーンのクライテリア間違ってるけどもまあそういった存在においてごとにつなげるようなことを
0:26:11	整理をするだとは真っ暗つつをそれが終わったらこんなまつアボ圧を決める時や条件設定をして本文にそういったことをさっきのかっていうの結果はそこを踏まえたような整理の仕方をしていくというふうな
0:26:29	ことと理解いたしました。以上です。
0:26:37	ちょっと、
0:26:39	ちなみにながら規制庁コサクです。ちなみになんですけど、今載せているのは1時間。
0:26:45	耐火の試験、
0:26:47	大臣認定の方ですねということで曲線としては1時間まで温度が上がっていているってということなんですけど。
0:26:57	原燃の方は1時間のデータで比較したいということではあるものですね、加熱時間は23分ということで、
0:27:05	どちらかというと30分認定の
0:27:08	方が加熱条件としては一緒のような気がするんですけど。
0:27:13	そこは、
0:27:14	なんで。

0:27:17	そういう対応関係といった対応したんですか。
0:27:24	日本で年内にあるんです。
0:27:26	3、30分たいかというのものもある
0:27:33	ですが、知事、
0:27:39	1時間耐火／。
0:27:43	なぜそこはちょっとあれですね
0:27:46	かつ見るとですね、30分太鼓アポ非常に薄い発になっているので、ちょっと比較する部分がそぐわないということで、そう。
0:27:58	1時間耐火の宝石カップしたというのが正直なところですよ。以上です。
0:28:08	規制庁オオオカです。その関係で30分間暴露する認定目標とかそういうのも整理されてるんでしょうか。
0:28:20	はい、日本原燃のエビナです。坪ですねちょっとすいませんちょっと私も見たところだったんですが30分とか、あとですね1にも満たないような、それにエビナれてしまうのぜい性とちょっと比較するのにはふさわしくなかった。
0:28:37	ないかなというふうに考えておりました。以上です。
0:28:42	規制庁の方たちました。
0:28:47	規制庁コサクですけど、比較するっていうことに何か意識が強く向いてるようなんですけど。
0:28:53	まず、どういうものなのかっていうのをちゃんととらえるっていう意味でそれぞれのパラメーターをよく見ていくということが大事かなと思っています。
0:29:04	でも当然条件が違うので、30分のものの活動は違いますけどそれはそれでいいんですけど。
0:29:12	まずそれぞれのパラメータを見て
0:29:18	耐火被覆っていうのはどういう性状なのかっていうことをちゃんと理解しておかないと、2mm3mmあり一致で話をするっていうのはちょっとどうかと思っています。
0:29:32	それもなんで。
0:29:38	そうすると、
0:29:40	大臣認定のほうは30分だとか作っていいのだろうかっていうのは何か。
0:29:44	わかっていますか。
0:29:46	ちょっと、
0:29:48	日本原燃エビナです。大臣性のペースと試験は、ISO標準加熱曲線に等で炉内温度を制御しますんで、30分程度とそんなに温度が
0:30:06	はまらなかったと思うので、その管理系でマークアップが薄くなってるものと理解しております。以上です。

0:30:16	規制庁コサクですけど、温度が上がらなかったっていう結論で言うのではなくて、
0:30:22	なんで上がらないのか。
0:30:25	ということなんですけど、入熱量が少ないんですか。
0:30:41	日本原燃のエビナです。
0:30:45	1時間。
0:30:47	耐火A30分待機時間大会時間耐火の差は入熱量の差だというふうに考えてございます。以上です。
0:31:07	規制庁コサクですけど、まあそういったところをですね、ちゃんと比較をしてこういう正常だというようなことを例えば先ほどの試験結果で温度の履歴あります。
0:31:23	どう。
0:31:25	200クドウを超える辺りで少し上昇が緩慢になっているのは被服が反応していて熱を吸収しているってことじゃないかなと想像してるんですけど。
0:31:39	はい。
0:31:41	その上で上昇しているのもうそういうのが、
0:31:45	このなり、
0:31:46	断熱材の扱いはしていくもの。
0:31:53	ΔT は稼いだ上でデモを入熱はどんどん入ってくるのでと。
0:31:59	いうことかなと思ったんですけども、そういった
0:32:03	ただイメージでいいでしょうか。そういう分析を担当して説明して条件設定とかをまとめて欲しいということなんですけど。
0:32:13	日本原燃のエビナです。そういった今コサクさんがおっしゃったようなことで我々も同様のことでとらえておりますんで、耐火被膜圧の設定のところにおいて、
0:32:29	の増加させていただいたつもりだったんですが200近辺で発泡してそこから先は断裂の厚さが変わったというふうなモードに変わるというふうな分析ですねそこに入熱がどんどんしているんで、冒頭、
0:32:48	第1にですけれども飽和温度がどんどん上がって、
0:32:51	一方を耐火試験のほうはですね、入熱等パート今度放熱の方がバランス取れて、ある程度のところで温度が一定になってるんじゃないかというふうに考察しているところなんです。以上です。
0:33:09	規制庁コサクです。今の放熱っていうような話で言うと試験体の形状が違うからっていうことですか。

0:33:20	日本原燃励起です試験体の定常は違いますんで、大臣認定試験というのは、その建物の中のとかさいて、柱が耐えるというふうな設計にしているんで、
0:33:37	高熱性がなくですね入熱本が全方向からウノを想定してるに對し、我々の知見というのは、どちらかといえばある一定方向からの輻射一定方向と言いながらも、いろんな方向なんですけれども、それでも、
0:33:56	全体からではないということで、その違いが出てるのかなというふうに考察しているところなんです。以上です。規制庁コサクです。
0:34:06	当初の想定はそうだったんですけど、今途中で言われた通り斜め方向とかもあってですね、競争の仕方としては大事にしてと同じようにとすることになった結果としてですね。
0:34:22	比較的す大臣認定側の条件なり考え方に寄ってきているんじゃないかなと。
0:34:30	を持ってきました、
0:34:33	もうそこも踏まえながら、考えを整理をしていくということだろうなと思ってますんで、
0:34:42	原燃側の耐火試験の結果でもって先ほど
0:34:46	上昇オオオカ落ち着いたところで終わっているっていうのが放熱っていう話もされたんですけど。
0:34:53	起伏が
0:34:58	断熱材の状態になっていくところの仮定はもう過ぎているのか。
0:35:06	途中なのか。
0:35:09	そのあたりも今の放熱の関係でちょっと整理をしていただいたほうがいいかな。
0:35:16	と思ったんですけど。
0:35:21	そこはどういった人はどうなんでしょうか。
0:35:25	日本原燃のエピナです。
0:35:28	あっち代としては、ちょっとこれはもうあの試験終わったものの、
0:35:37	何とかその様相見た比較にはなるんですが、
0:35:44	一方、弊社のほうがまだその舗装とかが
0:35:51	上塗り塗装ですね、上塗り塗装とかが若干参加したものが残ってるような状態であるのに対して、その大臣認定試験のほうはもうそこすら完全になくなった最下っていう状態まで、
0:36:07	いってるというふうな違いはあるのかなというふうに考えております。はいえ、断熱の統制残せは同じようなところには達しているのかなというのが我々の今のオオオカです。以上です。
0:36:24	規制庁コサクです。

0:36:27	だんだん発泡がどこまで進んでいるのか、単価なりを進むと、今回でしたっけえ等進んでいるのかっていうのは途中であっても、
0:36:41	先ほど言ったようにその吸熱をすることもありですね、
0:36:47	後ろの鋼材側への影響というのを抑えられるという性能がある。
0:36:51	だと思うので、それはそれでいい。
0:36:55	いいんですけど、
0:36:59	どこでそういう機能を持っているのかっていうことをちゃんと認識をしておいたほうがいいかなということでお聞きをしました。大臣認定のほうは灰化しているというようなことなんですけど、それはその1時間。
0:37:16	続いて、また原燃側の話でいうとこの+410分近く、
0:37:22	加熱しているので、その間、
0:37:26	十分に断熱材の形状、
0:37:29	正常になった上で、表面があぶられているからっていうことだと思うんですよ。
0:37:37	なんでちょっとそこの辺り整理をしておくとか単純に厳しい云々とかじゃなくてですね、どういう状況なのかっていうのを認識した上でっていうことになるかなと思ってます。
0:37:49	はい。日本原燃エビナです。今のところの御説明したところまであり考察というか、そういったところは足りてないと思いますので、ちょっとそこは整理したいと思います。以上です。
0:38:14	規制庁オオオカです。この議論はまた今の指定のコメントを踏まえてまとめ直していただいて、今度提出される外来数は4。
0:38:26	また反映するなりねとして進めください。
0:38:32	はい。表現レビューです承知いたしました。
0:38:36	規制庁化ですサトウ原燃側から追加で何か議論したいこととかありますでしょうか。もしないようでしたらこちらでちょっとして徹底していただいた資料に関してコメントを事実確認していきたいんですが、
0:38:56	はい。日本原燃のエビナです承知いたしました。
0:39:00	規制庁かですね、まず、その旨ちょっと初めのほうにも少しありましたけど今回の外貨04が2月19のヒアリングでコメントした格好にいろんな論点があるということで、あまりこれに
0:39:18	作っていただくというところもあるんですが、結局ヒアリングが4ヶ月間何とも延期してよく確認してらっしゃるということで、最後に言ってもう落丁とかが見られて、結果6月9日までいろんな修正が入ったというと、
0:39:37	もうありますんで、ちょっとですね他の特に外部衝撃系は誤植落丁が結構多くてですね、特に今回のこの

0:39:48	4ヶ月間費やし
0:39:50	かつ結果再提出になってまだちょっとやはり誤植等あるということで確認プロセスだけ少ししていただけますでしょうか。
0:40:06	日本原燃礼儀ます。
0:40:09	資料の確認プロセスがまず部の下部の中っていうか、作成箇所の最終の確認者私ですが私のほうで確認して、このアボ、当社内で
0:40:26	含みレビューをしてですね、するといった形になってございます。以上です。
0:40:35	はい。
0:40:36	規制庁化ですと何かそのQMSに基づく確認プロセス、例えば許認可相当の方であれば、こういう作成者審査したほうがいい手で一律やったとかいうビジネスを伸ばしていつでも
0:40:54	すぐ取り出せると根拠等取り出せるようになってるとかそういうことはされていないでしょうか。
0:41:17	40年のオオハシでございます。基本的には作成したものに対して、作成者と大間チェック者を定めて一々チェックに受講した後に審査承認という形で、
0:41:33	作成者等いちいちチェック者以外の人間が結構してそれで資料に対して承認を与え、
0:41:44	ルート2プロセスで
0:41:47	確認をしております。
0:41:49	規制庁課です。うんそういうプロセスもルールでしたらちょっとやっぱりですね落丁ださすがに別紙が2ヶ月ウノつuckingというのが何度もあったり、
0:42:02	作成者は多分なの作っている寿都中でいろんなことに気が付いて気づかないかもしれないんですけど審査しなかったんやから。
0:42:11	認識
0:42:13	そう何重にも当たっているようであれば一体ばらばらとめくっ砕けでも見つかるようなものなので、例えば0.00ちゃんと
0:42:24	適切なことになってるとかですねそういうプロセスをしっかりするんでもって出していただければと思います。ちょっと怒り別もプレス命令ヒアリング毎回ちょっと、指摘というかコメントするんですがそれに対して、しっかり確認して提出しますとだけ。
0:42:44	られますんで、時綱のようなプロセスにちゃんとなっていたらと思いますんで、よろしく願います。
0:42:53	はい。荷揚ネギシます。今回のちょっといろいろ節水としては単品での別紙だとかですね、本文とかの単位では確認はしたんですけども合本サポートっていうのが確認できなかったりするんで、ちょっとそこは

0:43:12	添付が2回ついてたところの話だけにはなるんですが口側の話はまた別ですが、ちょっとそういったプロセスを見適切な時期になるように直したいと思います。以上です。
0:43:27	規制庁かですね、よろしくお願いします。
0:43:29	あと、今回基本の軸も出していただいて大分いろいろコストの補足
0:43:36	してもらったんですがちょっと不足しているところなんかはやっぱあってですねそれが外貨04の法令議論していく中でも関わって記載がぴったりつぶれていた。
0:43:50	別のところがありますのでちょっと外貨04種、
0:43:53	話できていくから、
0:43:56	基づくようなところから含めて議論したいと思います。その前にですね、今回配下起伏のつこう範囲がやはり大幅に今までより増えましたがその震災影響特に耐震評価への影響とか何か工事計画長とかがどうなってますでしょうか。
0:44:23	日本原燃のハラダでございます。今回ですね見る。
0:44:28	。
0:44:29	もし、
0:44:30	によって
0:44:32	て、
0:44:34	増え、
0:44:36	いうところではございますが、改めて確認しまして、一応影響ないというふうに現在のところ評価いたしております。以上です。規制庁からです。承知しました。
0:44:51	税抜等ですね今までコメントしてきたもので、今回外貨04も含まれてないようなところっていうのをちょっと上げてますので、次の班には入れていただければ。
0:45:05	思いますまずですね斜熱盤関係がかなりあっさりして施工範囲とか評価結果というのは丸べついてないっていう状況です。これは初めからずっと言ってきたことなので、
0:45:20	あと者熱媒の耐火被覆もいろいろやると、前は伺っていたんですが、
0:45:27	その辺もクリアになっていないような状況ですので、この辺なってますでしょうか。
0:45:35	日本原燃田中でございます。当初熱板につきましては、ヒアリングの中で、生徒、トナミ各社の考慮というものを新たにすることといたしましてそれを考慮するに当たり適切な形になるように現在見直しを

0:45:53	進めてございます。その形を整理したいとして4 ぼや反映したいと考えております。成長かですね、まだ設計中ということでありますしましたので、
0:46:06	それと前は耐火被覆もまだあるんでしょうか。
0:46:14	日本原燃田中でございます。発番への堆肥思えと実施の予定となっております。
0:46:20	規制庁かね承知しました。タニグチ手術前の耐火被覆とかな、やっぱりちょっとどういうふうになるのかみたいなのがまだ分かってなくて結局斜面の裏側おそらく乗らないんですね、ファン、オオオカがいろいろそのクドウ部があったりするんで、
0:46:41	日本原燃田中でございます。当庫理解の通り都市熱盤の表側にえとタイプ飛行等々しまして、裏側の方は登録しない計画として今現在準備を進めております施設を可決その辺、
0:46:57	がしっかりわかるような図面とかと評価結果ですねそういったものをまたつけていただければと思います。ちなみに今設計ということでいつごろになりそうですとか、
0:47:25	規制庁活動のページに、日本原燃田中でございます。
0:47:29	基本的に基本設計の懇切の場合と現在まとめ終わってまして今現在とその他の影響等のちょっと現在確認しております、それが終わり次第、
0:47:42	5 ページできると思っております規制庁オオオカです。例えば今度の審査会合にかけるためには次の雷と書いていただく必要がありますがそこら辺はどうでしょうか。
0:48:01	日本原燃体でございます。あと一周するって修正期間の少しの確認でございますので、次回の資料の見直しの際には含めて定置いたします。以上です。それ長官承知しました。
0:48:17	サトウですね、耐火被覆施工時の防護ネット等との干渉位置とか、あと施工とか検査の方法とか、あと各防護性能への影響とか、そういったものも
0:48:34	一応コメントは出してたと思うんですが今回入ってきてませんでしたので、その辺はどうでしょうか。
0:48:52	日本原燃のハラダでございます。
0:48:55	今回回位役は記載したつもりではございましたけれども、おっしゃる通りですね詳細の部分がわかりにくくなっておりますので、再度一つ一つ確認してですね。
0:49:11	記載を充実わからせていただきます。以上ですそれ超過です。あそこは設計は終わっているという理解でよろしいでしょうか。

0:49:23	日本原燃のハラダでございます。と設計が終わっておりますので、あと、書き込むだけという認識でございます。規制庁から処置の下ではちょっとやはりわかりづらいついていうところがありますのでそこはしっかり図面等でわかるように説明いただければと思います。
0:49:43	あと、続きまして発報時のほうもネットとの干渉時の例えば防護性能への影響とかですね、そういったところも含め、
0:49:55	したらいただければと思うんですがいかがでしょう。
0:50:01	日本原燃の原田でございます。ですね、防護設計の影響ということ。
0:50:10	ですよ。
0:50:12	整理して記載いたします。
0:50:15	規制庁の川です生じました。
0:50:19	バンツととまって、
0:50:21	はい、すいません、規制庁の古作ですけど、
0:50:24	今、この前のものも含めてですけどオオオカから話をしてるのっていう、今回初めて聞いてるわけじゃなくて、これまで何度も指摘をしてやって、その他、その対応がされてないから聞いてるっていう
0:50:41	理解なんですけどオオオカそれでいいですよ、規制庁からその通りです。
0:50:46	規制庁コサクですので、スタートすると今の回答って何かおかしいんですけど、どうなってるんですか。日本原燃エビナです。こちらについては現法制ですね、我々の思いというのは、CAMP保安機能のほうに入ってますんでちょっとここについては続けさせていただきたい。
0:51:07	規制庁コサクですけどごめんなさい。やることになってますって今、御回答されたのかもしれないんですけど、やることになっているならなんでこの資料に書いてないんですかっていうことなんですけど。
0:51:20	日本原燃のエビナですいません。やることになってるんではなくてちょっと書いたつもりだったんです。どこですか。
0:51:30	日本原燃田中でございます。投資の13ページのほうにですね、13ページの(2)耐火対象の範囲の二つ目のパラグラフのところにですね、明日等浅いんですけども、
0:51:47	一応触れるような形となってございます。
0:51:52	規制庁コサクですけど、すいません、具体的に、(2)のどこですか。
0:52:03	はい。
0:52:16	メキ日本原燃田中でございます。13ページの平井等へと二つ目のパラグラフで大過塗装を取り×確保できないしレポートに施工するのあとに別途飛来

	物防護ネットの塗装にあたっては、ネットの作業に影響を与えない範囲で塗装するというふうに記載をしてございました。
0:52:37	規制庁コサクですけど、これ定例ってわからないっていう話になってのコメントじゃなかったでしたっけ。
0:52:47	ちょっと、
0:52:49	日本原燃、
0:52:50	ウノオオハシです。
0:52:52	それとも一つ、ちょっと関連するところで記載をさせていただいているのが通しページの 42 ページをご覧いただきたいんですけども、
0:53:03	航空機落下火災の影響が優遇期間等あと他の自然現象の組み合わせについて検討しているところがありまして、次の 43 ページに位置等を行目あたりから先に航空機墜落火災が発生した場合で、
0:53:22	ネットが損傷した場合にどう考えるかということを書いています。ここには、例えばネット周辺の塗料が膨らんだことによる影響ということまでは読取はしないんですけども、
0:53:38	ネットの損傷と同じような話だとは思いますが、その膨らみが生じてしまった後、
0:53:48	それを当然また無理直すとかですね。そういったことがあると思うんですけども、その期間を考慮しても、その間に例えば竜巻が来るとかそういうことは考えられないというふうに整理しておりますので、そこで以前いただいたコメントに対して回答したという
0:54:08	ウノ資料しております。以上です。
0:54:11	規制庁コサクですけど、今の話も前回も私の方からしたと思うんですけど。
0:54:18	それからかつ明確になるように書き込むっていうことも含めて、
0:54:23	今日の
0:54:25	ヒアリングで説明だと思ったんですけど。
0:54:29	すみません、お母さんを二つおかしいですかね、成長のところでしたらければ、はい、それちょっとあれです。同じ認識でおりまして、そのために今ちょっと今までコメントした中で、今回反映されていなかったものの中で列挙しております。
0:54:48	なので今のますっちゅうの話もございまして、もどきをちゃんと考えてくださいというコメントも前回そこ関係指定して言っているんですけど、それも今回入ってこなかったの、それも挙げさせていただきます。
0:55:03	規制庁不足です。

0:55:05	ということでですね、今オオオカもありましたけど前回のヒアリングでは、復旧の時間がどれぐらいかかるんだとその間に何でその期間も見込んでもいいのかという話もしたはずなので、今の書きぶりでそんなことは読み解けないということは、
0:55:23	理解いただけると思うんですけど。
0:55:26	特に前回もそれで説明ができなかったから宿題になっているのであって、
0:55:32	それから何でこんな対応になってるのかっていう現様子を明確にしないとですね、先ほどオオオカから落丁とかの話でちゃんとチェックっていう話ありましたけど、そんなレベルじゃなくて、内容としても相当問題なんですよ。
0:55:49	メーター土佐読まないですよ。
0:55:53	日本原燃のエビナです。すいません。まず別個の動作との関係っていうのはちょっと直接的な表現になってなかったっていうのは、申し訳ございませんでした。
0:56:09	あと復旧時間等なんでそれでいいんだということについてはですね、今オオハシの方からお話した部分というのが、まさにそのアンサーとして、我々書いた場所になっているんですが、これではちょっと
0:56:26	読み取れないということでしょうかと不十分だった前後を教えていただければと思うですね規制庁一つだけですけど、どこで書いてあるんですか。
0:56:38	これ何ページ。
0:56:42	次、日本原燃のエビナでつつ、モースページで 43 ページも、当真ん中ら辺の Paragraph 後記載が、まさに今オオハシが設定した内容となっております。
0:57:01	日本原燃の橋ですけれども、一応ここでは書き方としてその復旧に 6 ヶ月程度を要すると仮定するという書き方をしてあるんですけれども、我々としては、国立墜落火災が発生した周辺、
0:57:19	ネットの枚数が住まい程度から 10 数枚程度ということを考えてときに、その材料調達する期間ですとか、或いはそれを施工する期間というのをですね、大まかに見積もった結果、
0:57:34	6 ヶ月程度で補修ができるだろうということを考えて記載したものとなっております視聴覚ですけど、まず書類のつくり方なんですけど。
0:57:46	追加したことだったらアンダーライン引きとかってないんですっけ。
0:57:51	もとからこれ書いてあったということですか。
0:57:56	日本原電のエビナです。
0:58:00	今回ですね、治療で大麻大幅大幅改定という場面は、
0:58:06	名作り直してるので。ちょっと測線 5 地区というところではもうほぼ表現し切れない状態になったわけで

0:58:16	新たに追加おっしゃったイメージで、
0:58:21	規制庁化ですとここは初めて書かれたところという認識なんですけどそれで大丈夫です。
0:58:30	日本原燃のエビナですと2月に提出、2月と9月2月ですね2月に提出させていただいたものには記載がなくて、今回の鉄で初めて記載させていただいたものです。
0:58:42	規制庁コサクですね、まずそれをわかりました下のほうに影響のところの下線が引いてあるのは、
0:58:52	何日でしたっけ。
0:58:54	9日に再提出したときに修正した部分で、
0:59:00	引かれてるってことですかね。
0:59:03	日本原燃のエビナです。すいません、ちょっと説明説明じゃないや、そのAの説明説明が悪くて申し訳ないですがそうです起点は今回新たに出したものを起点にしてそこからの修正点ということで正規化させていただいております。
0:59:21	以上ですねちょっと補足ですまず資料としては状況は理解をしました。その上でですね。
0:59:27	この6ヶ月なんですけども、6ヶ月の数字の妥当性とやかくは言わないんですけど、この説明でいくと6ヶ月は被服が復旧できてない間も運転するかのように見えるんですけど、そんなおつもりでいるんですか。
0:59:49	日本原燃のエビナです。
0:59:53	ここは復旧エース
1:00:02	はい。
1:00:03	そこははいそうですね、密閉はしないです。はい。
1:00:13	まずそういうスター規制庁コサクですけど、許可のときも、非定常のときにどうあるのかっていうのを運転措置などを含めて整理をさせていただいているはずで、
1:00:30	その運転措置があるから、その期間においてはこういう対応でいいという話をさんざん許可ではしたつもりなんです。
1:00:40	これだと思ふんだからそのままいいんですみたいに読めて、そうすると、追加で航空機墜落があるとは言わないものの、
1:00:49	でも結構
1:00:51	としてはそういう状態での運転を認めているわけで、そういう状態というのはちゃんと墜落火災があっても大丈夫なようにっていう施工した。
1:01:01	状態での運転を認めている。
1:01:04	わけで、その復旧をしてないのについていうところがあつてですね。

1:01:10	ちょっとこれだけだと違和感があります。
1:01:15	はい。日本原燃がですね、
1:01:19	そういう意味では運転との関係という点では記載が全然足りてないので、そしてそのコアを追記させていただきます。以上です。
1:01:32	規制庁課です。もうこの議論に入ってしまった、あとで議論しようと思ったんですがこの部分も耐火被覆側の復旧プロセス等もないという状況なので、その辺もちゃんと
1:01:47	検討に入れて各個々で深度のことだけ話しますけどその頻度のリアリティを云々よりも
1:01:55	一方、それぞれのプロセスをもうちょっとちゃんと書いてそれに基づいて頻度を出していただければと思うんですがいかがでしょうか。
1:02:06	はい、日本原燃のハラダでございます。大きくそうですねただいまのネットの設計プロセス、或いはマークが傷ついたときの復旧プロセスと含めてですね、各プロセスを
1:02:23	もう少し詳細明確に記載いたします。
1:02:29	成長過程ですよろしく申し上げます。
1:02:33	あとコサクさん、何かありますでしょうか。
1:02:41	規制庁コサクですけど、ごめんなさい、今の点で、
1:02:44	はい。
1:02:45	今の点はいいと思ってよろしいか進めてください。はい。
1:02:50	規制庁返しそれでしたら、あとはですね、ちょっと資料の再掲改正体裁にちょっと戻るんですが、あとは他の工事開始まで、対象としていることを説明資料は
1:03:06	基金債設備の、あとは本文に書かずHIしてるんですが、これも資料は次回まで含めてなってるんですが、全部申請設備に何か基づくものになっていて、別紙のほうでものバラバラと
1:03:22	一方、高が分断してるようなイメージになっているんですね、今後どういうふうに進めていくのかっていうところ少し教えていただけますでしょうか。
1:03:37	日本原燃のエビナです。
1:03:40	ば
1:03:42	パッキン分けが十分にできていないといけまさにおっしゃる通りです。
1:03:48	ですので、我々の思いとしては、本文側のほうでローマ数字のほうから冷却こうだとかいろんなものがあるんでそういったものの全体の話は改定で、あと、
1:04:03	別紙のほうですね、個別の記載を書いてですね追加してくるところにコアはNEAねらいはそうなんですが、ちょっとまだ準備できてないという点はおっしゃる通りかと思えます。以上です。政調会です。全体、

1:04:20	の共通系の話からの見解もあるかと思えますのでそこはしっかり他特徴ともあわせていただければと思います。
1:04:28	あとですね、剛性が葬祭 20 にはしませんけど
1:04:37	再処理施設だけの保障とかMOXだけの章とかがあったり、ここは限定する必要がないのに再処理だけ書いてあったりですね何か各省で繋がりがバラバラになっていたり、
1:04:51	あと別件でない別紙があるとかですねなんか読みづらい構成になっているので、そういうところも、今後見直すと思えますので、ちょっと注意深く見ていただければと思います。
1:05:06	ただでしょうか。
1:05:09	地区、はい、日本エビナです。承知いたしました。
1:05:14	成長からコサクです。はい。ごめんなさい。
1:05:17	今のお話とさっきの話合わせてなんですけど。
1:05:22	まずこの資料を大分その耐火被覆に話は寄っちゃっているんで、まず再処理の話っぽくはなってるんですけど、一応可能航空機墜落火災も、家米の温度ということも含めて、
1:05:41	この資料も範疇っていうこと。
1:05:44	なんですよ。
1:05:47	日本原燃のエビナです。それはその通りねらいはその部分規制庁コサクです。そういうことからすると、そういった部分はMOXも一緒と。
1:05:58	被覆のところは再処理オンリーと
1:06:01	いう大枠にいうとそういう理解でいいですか。
1:06:06	佐表現できないのですね。その理解で我々も作っております。以上です。
1:06:12	規制庁の古作です。
1:06:14	その理解で
1:06:17	淡々とかけていけば、多分先ほどのようなオオオカの質問っていうか、私的にはならないような気がするんですけど、ちょっとそういったところも含め所というしっかり見といていただきたいということと、別紙なんですけど。
1:06:34	先ほどご説明あったのは、もともとそういう考えで整理をしようねというのをたいし、
1:06:42	のヒアリングのほうで話をして前全体共通の 07 でもそういう整理を進めていることだと思うんですけど、具体的なイメージをちょっと話をしておきたくて、投資 22 ページにその別紙の目次が書いてあるので。それを踏まえてなんですけど。
1:07:04	この中で、

1:07:06	個別Ⅱ機器ごとに話をしなきゃいけないことって、
1:07:12	それぞれあるんでしょうか。
1:07:16	一番簡単に言うと、下側の
1:07:20	施工管理維持管理なんていうのは、
1:07:23	機器ごとに整理すべきことですか。
1:07:31	はい、日本原燃のエビナです。これは来ごとではない。
1:07:37	です。浜堤ですよねだから許可時の補足説明資料のリストという。
1:07:45	意味合いで勘違いをしてベースに突っ込んでしまったっていうことだと思うので、
1:07:51	ちょっと別紙がそういう意味では
1:07:54	先ほどのルールと認識がずれてたっていうことでしょうか、三島07のルールを理解をして整理をいただいたらいいんじゃないかなと思います。その上で、この中で、
1:08:10	機器ごとに整理をしたいと思うのはどれ位ですか。
1:08:20	日本原燃の斎藤でございます。個別の機器ごとに整理しておりますのは、まず別紙の1、評価対象部位の選定です。
1:08:29	それとともに、敷地はあ。
1:08:33	ちょっと、
1:08:38	1と5と6になります。
1:08:41	規制庁不足です。わかりました。そうすると一応見るとですね。
1:08:48	目次があって概要があって、
1:08:52	書いてあるんですけど、こういったものも別紙ではなくて本文で書いてくれるっていう話をしています。
1:08:59	極論で言うと、こういう考え方を一式書いた上で、
1:09:06	26ページの図だとか、或いはその結果としての
1:09:11	部材の場所なり、その仕様みたいなものを
1:09:17	ようスキーとステップべたべたとシートとして張っていくみたいなイメージが別紙1。
1:09:24	の議論なんですよ、こういうsecと言いながら、
1:09:29	鳥類をどんどんどんどんとつけるというイメージでお話しをしていなくて、
1:09:36	その点もちょっと認識がずれてるなと思ってるんですけど、その辺りは議論できてますか。
1:09:44	はい。日本原燃担当
1:09:48	はい。現状の書き方っていうのは、実際何ツガネルール、
1:09:56	2の通りには従っていないっていうのは、

1:10:00	おっしゃる通りでございます。
1:10:03	規制庁不足です。その辺りもよく整理をしていただければと思います。
1:10:09	で、今回これ別紙が必要なのっていうのはなんでなんですかね、次回で同様なもので、
1:10:18	この類型の中で、
1:10:21	これとこれとこれは状況が違うので個別に説明したいというのはウノとしては何がありますか。
1:10:29	どれもその冷却等々ネットっていう事でしかなくて、
1:10:36	もうすべてで言えばそれはもう本体に書いといて、それぞれの数字が違うから、その部分だけ別紙で抜き出しますぐらいかなっていう
1:10:46	イメージで1大丈夫ですかね。
1:10:51	日本原燃の斎藤でございます。
1:10:54	これ別紙で本来その整理するべきものとしては、先ほどおっしゃっていたようにですね別紙の1の特定の設備に対する図面等は別で整理することだと思っております。しかしその評価対象部位の選定。
1:11:13	施設を特定せずに、一般的なその書き方をするところについては、これは補足説明資料で各といったような整理になると思います。そういった整理を考えたときに、
1:11:27	このべしで残るのは別として残るのは、別紙1の評価対象部位の選定の施設を特定したところの書き方と、あと別紙5と6の、こちらも施設、
1:11:38	特定の施設に関する
1:11:42	ところが残るのみで他の別紙については、こちらの施設特定せずに書いてるものですのでこれらの補足説明資料で書かれることとなります。
1:11:54	以上です。
1:11:57	規制庁コサクです。今お話あったんで、じゃあ、次の別紙1はおそらく図面kぐらいっていうことかなと思うんですけど、別紙5で言えば、評価式難航は全部共通だと思うので、評価結果なり、
1:12:14	投資57ページの緒元だったりっていうことぐらいですかね。その次の図面もですけど。
1:12:26	日本原燃の斎藤です。その通りだと考えております。すいません我々当初の補足説明資料を一度つくったときにですね、流れをちょっと考えてわかりやすさというものを重視した結果、個別のものについてベストつけるというようなことをやってしまったと思うんですが、
1:12:46	そうではなくて、ちゃんとそのルールに基づいて、別に個別の設備についての記載をするということで整理すると思っております。

1:12:57	規制庁コサクです。わかりました
1:13:02	わかりましたっていうのでこれまでの流れは理解しました。今後整理を進めていただければと思います。よろしくお願いします。
1:13:11	お子さん続けてください。
1:13:13	規制庁オオオカです。構成等がまた見直していただくとして、本部側ちょっと幾つか確認したいことがありますんでそちらに移りたいと思います。
1:13:25	まずロジックにも関係してる場所なんですけど、
1:13:30	2ポツの設計の基本。
1:13:32	考え方、ここの部分について、もし確認したいと思うんで、①から⑥っていうふうに言ってもらってるんですけどまず大きな心をし対応等々でもいろいろ議論しているところではありますけど、①から弁閉で②な絵を詳細にちょっと出て、
1:13:51	それに対して③まで個別のところですね、ここの部分が
1:13:58	どうも機とか頭にあるとか何か。
1:14:01	ちょっと、やはり自然がなものになりますある塊で節子、
1:14:07	本人は設計していくものですので、南米へいきなり
1:14:13	満足しない部位部材が出てくるのか。
1:14:16	いうところをちょっと教えていただけますでしょうか。
1:14:42	規制庁加熱わかりましたでしょうか。006秒で、例えば、5、
1:14:50	耐火被覆及び3列盤間違えて合理的な設計とするとか書いてあるんですけど、ちょっと合理的っていうのはやはり設工認安全の審査をしているものでこれも関係するのかなと思うんですけど、②から③が急に
1:15:05	満足しない部材をいきなり出してくれるというところで、もっと言うんですけどね会議のときもちょっとしつこく聞いたんですけど、
1:15:16	冷却塔から十分離隔距離をとられる活動の規模も施設をつくって竜巻防護対策設備の中でもその梁とかも上部にすれば、
1:15:27	今回のものっていうのは大体ヒップかしらね都度使わなくても十分な許容温度をまずつるような設備が設計できてると思うんです。なので、なぜその許可のときに、
1:15:40	された外部火災に関して、許容温度が満足しない部材が出てくるような設計をしたのかという部分の補足の考え方ですね、そういったところがやっぱり相当のことんでるところなので、そこの説明をお願いします。
1:16:09	ちょっとさ、今までリソースも少ない。
1:16:17	日本原燃のサカモリでございますが、今オオオカさんがおっしゃることはもちろんの目指す姿としては当然あるべき姿かと思うんですけども、例えばです

	ね、冷却塔バラ十分離隔距離を離すように竜巻防護対策を設置するとか、そういうのを目指すということですね。
1:16:32	すごく巨大な躯体になりまして、当然エリアが当然構台のエリアが必要になるとかですね、既存の莫大なかなり大掛かりなものにあるとかそういった構造となっていくわけですね、一方でですねただ再処理の数字を見てみるとですね、冷却塔のすぐそばに当たって上がったりますね田地川には堂々とか、
1:16:52	やっぱり指定結構制約は多くてですね、なかなかそういうものを実現することが難しいというのがございましてそういうのを踏まえて少しちょっと表現が正しくなかったかと思うんですけども、合理的な表現とPAR設計とちょっと表現させていただきます、ちょっと表現を見直したいと思います。以上でございます。
1:17:10	ます。
1:17:12	室長からですね、そうそういう面があるというのは十分理解していて、それをちゃんと現場保管してもらいたいというところです。さらに加えてまず耐火被覆なのかという部分で、結局、何度も。
1:17:28	かなっている耐火被覆を使う理由っていうのがまだちゃんと説明されてなくて今回の資料でもやはりちょっと抜けているところがあると今の話からの流れ、
1:17:41	耐火被覆を使っているっていうところを少し
1:17:44	補足していただけますでしょうか。
1:17:51	はい、日本原燃レベルです。掃気します。
1:18:01	日本原燃のサカモリでございますすみませんあの防護た耐火被覆のですね施工ちょっと基本とするというのもですねあの4ページの一番上のところですね、ちょっとその意図を書かせていただいたつもりなんですけれども、ちょっと少し持ち越し深掘りというかですねそういう。
1:18:19	わかりやすさが必要だったかなと思いますんでちょっと記載の適正化をしたいと思います。大きな思いとしましてはですね、やはり耐震性の影響だとかですねあと実際現場で施行するというのもございますので、そういうのを踏まえて納車別盤及びコアの対パシフィックシステム法が好ましいというふうに考えた次第でございます。以上です。
1:18:41	規制庁からです。阿部。
1:18:43	それですね、その部分のロジック展開をしっかりともらうっていうのとあと大間ずっとずっとかね店。
1:18:53	メールと一番こちらが納得しやすくてですね、もしこういう

1:18:59	許容温度を満足しない部材がつからない場合はこんなふうになるみたいな姿があるとし視覚的に非常にわかりやすいので、そういうのを準備いただけるとすっと理解が入るのかなと思うんですが、
1:19:19	日本原燃のサカモリでございます。例えばですね、冷却塔から必要な離隔距離をとった場合どれぐらいの竜巻の大きさになりましてそこにどのようなものがあるかっていうのを示することは3タカマツできると思いますのでそういうのをちょっと入れていきたいと思います。以上です。
1:19:40	社長からです。よろしく願います。通帳一旦コサクですごめんなさいちょっと理解できなかったんですけど、圧損で飛来物防護ネット 10
1:19:50	大和は、そもそもその直近で燃えるので。
1:19:55	離隔距離なんてとりようがなくて、断熱あのまま影響出ないような
1:20:03	肉厚のものにするっていうか言わないわけじゃないのかもしれないんですけど。
1:20:11	それと何か今の大きなものを作るとかっていうのは何か違う話のように思ったんですけど、すみません、話のサカモリですすみませんちょっとわかりにくい表現で申し訳ございません冷却塔ちょっと手法といたしまして防護対策は必要ないような離隔距離をポツで
1:20:30	と竜巻を設計するとどのような大きさの竜巻対策になって、それちょっと平面上コスト元ですね例えばどのような建家と干渉するとかそういったものがお示しできればオオオカさんのニーズに合っているのかなとちょっと思った次第でございます。以上です。
1:20:46	質問の方から直接やコサクですけどそれをそれでありつつも、
1:20:53	そうは言っても、ネットを考えたら、
1:20:57	話は展開されてしまうので、ネット等冷却塔で設計方針を変えなきゃいけないのかどうかっていうのもよくはわからなくてですね、オオオカの質問には答えられるようにはしておいていただきたいんですけど。
1:21:12	一番は①からですね②③と展開していく中で、
1:21:22	という話が飛ぶということなので、先ほど③、
1:21:29	の中のちっちゃなのポツで書いてありますとか、⑥で書いてありますみたい。
1:21:35	ものは、
1:21:36	そもそももっと上の②辺りでちゃんと言わないとロジックとして通用しないということなので、その炉底の部分で言うべきことっていうのをちゃんと精査をして、
1:21:52	その上で、その補足っていう事で先ほどみたいな例示みたいなこととかが入ってくるっていうことかなと思います。ロジックを整理するという中で別途ロジックペーパーを書いていますけど。

1:22:07	そのロジックペーパーで書いてある内容はやたら細かくてですね、ここで書いてあるよりも、
1:22:13	詳しいんですよ、そういう逆転現象が起きているのもよく見て是正してですね、基本コンセプトは、この部分でわかるように、
1:22:27	していただきたいんですねそれも準大手ってということなんですけど、
1:22:32	②の許容温度についても後ろのほうで許容温度の設定とか、しっかりと会下流になってはいるんですけど、そのコンセプトがここに書かれてないといきなり許容温度って出ても困るので、
1:22:43	そういった辺りよく考えてください。
1:22:48	オオオカさんすいません。
1:22:50	三つすべてたら、お願いします。いえ、私が言いたかったこともそういうところでして、
1:22:57	等でちょっと後囊竜巻防護対策設備をウノとかで航空機が墜落して火災起こるんだから、それは刀やないかという話も結局は先ほどからありましたけど部材をしっかりとしたものに変えると、今の竜巻防護対策設備や梁の部分が非常に弱いもの。
1:23:19	作っているので梁の部分に対カチツとしなければ離隔距離がもたないっていうようなことがずっと示されてきましたので、やはりそこも今回の外部火災の仮定に基づいたちゃんとした針を施工すれば、
1:23:36	全然もつようなものが耐火被覆を使わずにもつようなものができると思っていますので、そういったところも、だから、2種類あってその離隔距離っていうのも、あと物理的な距離とあと構造の強度のほうも、
1:23:52	雨ですので、象限で来ていただければ挑戦していただければなと思いますんでは一抹値、
1:24:01	規制庁コサクですけど今の後半部分で原燃は回答持ってるんですか。
1:24:09	そもそも回答持っていると思ってるかどうかっていうこと自体でも、今の質問の意味とかを理解しているかどうかによるんですけど。
1:24:19	どういう認識でおられますか。
1:24:27	日本原燃のハラダでございます。今の区分がですね航空機火災に対する許容温度以下とする設計とするのの中にですね、まあ当然あの答えとしては、やはり往復するというのもございますし、あと防護板であるとか
1:24:47	或いは塗装施すという方もあると考えておりましたですね、
1:24:55	その辺を我々選択しながら許容温度以下とする設計を作り上げていくというふうに考えてございまして、ちょっと今の構成の文章ですとそこが

1:25:11	何か論理展開がおかしいかなと思っていますので、ちょっと規制に見直してですね、わかりやすく、設計のコンセプトを作り上げてお示していきたくて考えております規制庁の古作ですけど、
1:25:28	期待した答えとは違うんですけど、一方で言いたかったことの答えの一つになっていて、030 許容温度を満足しない部材っていうのはあり得なくて、
1:25:41	時起伏なり何なりをしてづくするように設計するんだから、入口出口と論理展開っていうところがよくわからないってことになるんですよ。で、こういった
1:25:52	締まってる理由は低くする範囲をまず被覆なしで評価をして許容するその状態で許容温度を超えるところに起伏状をしようという発想だったからこういうふうにかかれるんですけど。
1:26:08	そうであればそういう論理展開で変えていかないと理解できないと。
1:26:13	ということなんです。そうすると、
1:26:20	そうならないように部材厚さを高めて設計すればいいじゃないかっていう疑問も
1:26:27	出てくると。
1:26:28	ということなので、スズキdさらに等、それを何でかっていったとき、
1:26:35	に一生懸命前も耐震性の云々という話をずっとされていて、4 ページにもそういう感じで書かれているんですけど、
1:26:45	それもうの柱をしっかりとしたものにもたすればそれはそれで耐震性を確保できるわけで、じゃあ何を持ってそうではない方策にしたのかっていう考えを整理することだと思ってます。
1:27:00	そこまでに何か説明できますかっていうのが、
1:27:05	音に戻ると私の質問だったんですけど。
1:27:21	日本原燃のエピナです。そうですね。そう質問についてはちょっと、やはり整理が必要。
1:27:32	ちょっと我々の今考えてる中ではつってんついてないんだっていうのが正直なところなんです、そこはちょっと整理した上で、当資料に反映する形で回答したいと思います。以上です。
1:27:49	規制庁コサクです。よろしくお願ひします。そうしないと何でこれっていう感じが無いと思うんで、
1:27:56	そこをどこのどの程度このロジックとして入れるかどうかはちょっとよくわかんないんですけど、少なくともその前の回答であった。
1:28:06	何つうかね被覆ありき或いは修復の範囲を決めるという手法ありきということではなくて、しっかりとロジックのもとに流れを持って説明いただくと。

1:28:17	というのは、まず最低限やっていただいて、その中で、今言った話も入れ込めるなら入れ込んでという
1:28:26	ところも或いは必要な
1:28:29	或いは入れ込んでということですかね、整理を進めていただければと思います。よろしくお願いします。
1:28:35	日本原燃のムラノです。了解いたしました。それでちょっとあのます今回設計としてあるのだからっていうロジックも確かにありますし、一方、この議論は事業体からの議論もありまして、事業許可の段階では、
1:28:52	必要に応じて防護対策を行って温度上昇を評価するというようなことで許可をいただいている経緯もありますので、そういったせんでも少しロジックを見てですね、どういった防護対策の中でどう選んだからこそ、
1:29:08	整理のやり方もあると思うんで。
1:29:11	ちょっと今日いただいた意見を踏まえながらですね、少しこの記載ぶりもあわせてトリプルAと構築したいと思います。基本的には変わり目考えてますもうもう少しうまく流れるように整理いたします。以上です。
1:29:27	規制庁コサクです。はい、やることは変わってないので、ちゃんと整理をしていただければということですね、もう一つ言うと、温度評価をして満足しないところを施工するのではなくて、今回ある程度の距離に対しては、一通りの施工すると。
1:29:46	いう形での施工の範囲に変えていただいているので、そうすると、③の辺りってというのは期限が変わらざるを得ないんだらうなと思っているんですね、それが⑥のものを繰り上げてってということにもなるんだと思うんですけど。
1:30:04	そこで
1:30:07	適切に施行を施工することで、被覆を施工することで直近の加算について対応するんだというコンセプトがわかるようにしていただけたらと思います。よろしくお願いします。日本原電ムラノです。その通りで考えたいと思います。
1:30:26	今回のコンセプトは先ほど流下中にもあると言いましたがやはり必要離隔距離というものをパラメータにしてそれに対して必要な防護対策を行っているというコンセプトになりますので、そういったことを基軸に取り返します。以上です。
1:30:47	規制庁からです。2章の基本的な考え方は、今度の審査会合のところロジックという形でしっかりかけますので、その辺疾患の整理されましたらまた次のヒアリング等でスツ確認させていただきますのでよろしくお願いします。
1:31:03	続いてまして、
1:31:06	ちょっとごめんなさい。はい。
1:31:09	ごめんなさい。今話だったのでコサクですけど、次のヒアリングっていうのを

1:31:18	でしっかりと議論をしたいということなんですけど、そうなると、そんなに時間も なく対応いただきたいんですけど、原燃として、そのスケジュール感ちゃんと持 ってますか。
1:31:32	はい。日本原燃のエビナです。
1:31:36	スケジュール感としましては我々の考えてるところでは本日いただいたコメント 等を修正したものをですね、火曜日提出させていただいて第1-Pに提出させ ていただいて、
1:31:51	ちょっと1週間はないんですけど一度特出したものを修正ということで、金曜 日ですねええとヒアリングをさせていただければという形で考えているところ です。以上です。
1:32:05	規制庁コサクです。わかりましたよろしくお願ひしますで統一先ほどの別紙の 構成。
1:32:11	そうですね。いろいろをやること盛りだくさんだと思うんですけど、どの程度まで その火曜日までにやるかどうかと。
1:32:22	いうところなんですけど、もしフルにできなくてもですね、こういうふう作業中 ですってということがわかるように書類の中でメモを入れ込んでいただけると、
1:32:37	この部分の議論ってということでの資料としては見れるかなと思うんで、最低限 そういう配慮をしていただきたいと思うんですけどよろしいですか。
1:32:48	はい。日本原電できないです。配合例と話す済みというところをちゃんと説明で きるような公正であったり、あと記載が最低限できるように、それ以外、それ以 外キャンパスそこであまり議論にならない。
1:33:07	主な心の記載で間に合わない部分についてはそういった配慮させていただい ければと思います。以上です。
1:33:15	規制庁かで今回の外貨04に関しましてやはり補足説明資料ということで非 常に詳細な部分で書いてあってそこに対する各委員等はたくさんありますが、 その介護を優先していただいて
1:33:30	ネット火曜日か、その辺になるかもしれませんが、今度提出いただくときはそ の会合訪問をしたようなものでどんなことを説明するかという講師等もSいた だけるという理解でよろしいでしょうか。
1:33:49	はい、日本原電エビナです。当然もそれぐらいのスケジュール感じゃないかな いと思います。例えばそしていただきます。以上です。市長からです。前回の 会合のコメント回答という形で懇
1:34:05	もういろいろ資料のほうへ率していただきましたが、そうそういう意識を持って 変えつつ、介護のための資料っていうのも、こうして準備いただければと思 いますのでよろしくお願ひします。

1:34:18	3 ポツに移りますが、3 ポツでマスクングが出てきてる 4 ポツ以降かなりマスクングの量が多いんですがちょっとマスクングを点で 1 点だけ確認させていく。
1:34:31	3 ポツの(1)の冷却塔の下の所マスクングなってるんですけども、上にマスクングの理由っていうのをちょっと教えていただきたいんですが、今まで結構いろんなところで議論してきたようなことだと思うんですがマスクングにしたり、
1:34:48	教えていただけますでしょうか。
1:34:54	日本原燃田中でございます。こちらのマスクングについてはですね、3 ポツの頭のところにですね、言葉の定義を当安全冷却水B冷却塔という定義を入れた上で下の文章で展開しているため、こういう設備の記載と、
1:35:13	パンパン提案されるような形になってしまっております。そのため、こちらについてとマスクが施されております資料です。
1:35:25	規制庁彼その 2 分の 2 分全部になります。やはり
1:35:31	何か今まで使わずいろんなところを言ってきてちょっと別紙とかでも展開してるような内容かなとはもう
1:35:38	切ったんですが、
1:35:40	やはり必要でしょうか。
1:35:44	規制庁コサクですけど、
1:35:47	ベースのときにお話した通りですね、本体側具体的な設備ではなくて、一般的な累計のもとでの考え方作業を評価方針と
1:36:00	いうことであって、そうすると、
1:36:04	今最初の行で個別の機器を挙げて略称入れてるのでと説明しましたが、そもそもここで個別の機器を書くこと自体が間違いなんです。
1:36:16	ですよ。
1:36:18	そう考えると、一般的に冷却塔としてっていうことでは確保ができるんですか。
1:36:25	しっかり日本原燃がですね、そういった意味では多分ここは一般論としての話になる。
1:36:33	マスクングは受ける形になるのかなと思います。以上です。
1:36:42	規制庁課です。そういう面でちょっと本体側の月中に多いんですが、そこはちゃんと吊具ルールに沿って、あと別紙構成等の補足説明構成の基づいて、ちょっとマスクングを見直していただかないとなかなか議論しづらいところが出て、
1:37:01	ますので、そこはよろしくお願います。
1:37:07	はい、日本原燃エビナです措置しました。

1:37:13	全長オオオカですってさ、3 ポツの抽出でもまた別紙のほうでいろいろと議論した結果を反映していただければと思いますんで、ちょっと飛びました 4 ぽつですな。4 ポツ以降ですね、急にそのMOXの話がなってるな。
1:37:29	Cクラスですな。それはどういう整理なんでしょうか。
1:37:47	日本原燃の齋藤でございます。
1:37:52	4 ポツの設計方針において、そのMOXの記載がないというのは、建家についての記載がないということととらえました捨てそれに関しましては、別紙においては、タケダについての記載がございますが、
1:38:09	この補足説明資料の 4 ポツでは、
1:38:13	ちょっと書かれてませんので、
1:38:17	構成について見直させていただきます。以上です。
1:38:23	通帳からです。そういうことをですね、
1:38:27	こちら辺から大分ウノ再処理側の話に特化したような書きぶりになっていて、かつその構成がですね、設計の分類ということで三つ挙げているものはまた後のほうでどんどん変わってくるんですね、各省庁で、その設計の分類がどんどん変わっていくような
1:38:47	状況なので、そういったところもしっかり見直していただければと思います。
1:38:54	例えば変更指示構造物以外のせ部位っていうのは、
1:38:59	だからここに挙げられていて、そこに例えば入のかなと考えたんですがそうではないということですね。
1:39:11	はい。日本原燃の齋藤でございます。その通りでございます。
1:39:16	委員長からですね、支持構造物以外の部位に(1)の冷却性はかわいいんと思うんで、言葉チリですけども、少し綺麗に整理していただきたいなど分類を、
1:39:31	と思いますが、その辺何かありますでしょうか。
1:39:41	日本原燃の齋藤でございます。緒元については見直しさせていただきます。
1:39:50	規制庁かでしょ知識ましたよろしくお願ひします。当然 6 ページ目の上の第 4-1 通追加してもらったところでした熱盤のことをいろいろ変えてもらってマスクング箇所なんですけど、ちょっと何を書いているのかよく
1:40:06	わからなかったっていうのが正直なところでして、
1:40:10	吹き出しが二つあってちょっとはみ出て、
1:40:14	ダスキンからカミデてますが、
1:40:17	何を説明したかったんでしょうか、ちょっとマスクング箇所なんできなくていただければと思うんですね、吹き出しの中もちょっと書いていることが、
1:40:26	わからん。

1:40:31	日本原燃田中でございます。こちらの方としてAと記載していたイトウについてなんですけれども、このちょっとマスキングの中にある守りたいというものをカラーですねと外目に車線を
1:40:49	してそれが
1:40:52	土地からの視点で外に向かえるへ向かうへと線がございません。逆を言えば、外から内側にパイル別途輻射はございませんということを説明した上で図面のほうステート作成してございました。ご指摘の通り、確かにわかりづらいというところはございますので、これについては記載方法について、
1:41:12	皆お伝えと思います。以上です。
1:41:15	規制庁隠すだめちょっとわかるようにしていただければ、ちょっと今の説明聞いただけでも、
1:41:22	そうになってないと思ったんで、すいませんけどよろしくお願ひしますせ規制庁コサクです。すいません。
1:41:29	整理していただければいいんだと思うんですけど、一応、何が言いたかったのかどうか私の理解のためなんですけど、基本は外で燃えている会員からの副ちゃおうA棟原動機だったり、2、
1:41:46	影響与えないようにさ熱をするということだなめ尽くさとかも考えながら範囲を決めますってことですよね。
1:41:57	日本原燃田中ございまして、御理解の通りでございます。
1:42:03	規制庁コサクですけど、もし非開示的な話だったらあれなんですけど、その上で、
1:42:11	謝絶指定斜熱盤が温度が上がるといった時の
1:42:16	裏面からの輻射っていうのは何か。
1:42:20	検討されてるってことなんですか。
1:42:26	日本原燃田中でございます。そちらについては設計としてと検討してございます。
1:42:36	具体的にどんな感じなんですか。
1:42:42	温度評価をしてそれによる
1:42:46	各社で原動機なりがどれぐらいの
1:42:50	土壌しょうがありうるかみたいなことを評価してるってことですか。
1:42:56	日本原燃田中でございます。ちょっと詳細の中身がちょっと少ないかちょっと今わからなくて詳しく説明すべきないんですけども、謝絶盤からの日輻射を考慮して当そのものが守らなきゃいけない温度以下になっているということを確認しております。
1:43:17	規制庁コサクです。わかりました。

1:43:21	今後この辺りもその一般論的な表現として、なるべくマスキングしないようにということで対応いただきたいと思うんですけど、そういった考慮事項は明確にさせていただきたいと思います。すみません今書いてあるのかもしれませんが。
1:43:40	それを踏まえて、それが適切にわかるような図にさせていただければと思います。よろしくをお願いします。
1:43:49	日本原燃田中で生成承知いたしました。
1:43:52	成長からです。1日間言ったようなそのちゃ熱の影響評価意識っていうのは、始めにも申し上げましたけど、今まとめていて、次回以降で確認することができるっていうことでよろしいですね。
1:44:10	日本原燃田中でございます。その御理解でESATマト見えさまのための作業をつづ継続して実施したいと思います。成長過程ですよろしくをお願いします。
1:44:23	どっかですね本文側の8ページ目なんですが、
1:44:33	4-3の考慮
1:44:35	その他の考慮しているところ、ここは前からちょっと議論になっている点ありまして今回航空機墜落火災がマニュアルで起きるっていうことで、
1:44:49	御空気のまちコミットワープロ
1:44:52	部材間の極端な温度差というのを評価してもらおうっていうことで、航空機の取り込みについては別紙のほうでまとめられていたんですが、渠温度差があん生じることは考えられないに変わって、
1:45:08	aですね、当然その理由は財務に一杯一杯被覆を施工することからになっているんですが、これはもうちょっと説明いただけますでしょうか。
1:45:23	日本原燃のサカモリでございます。以前はですね当水平輻射が当たる部材に対して耐火被覆を施すということですがすぐ裏とか耐火被覆をしていないということで、ちょっと温度差が生じると考えていたんですけども、今のちょっと設計思想といたしましては、
1:45:42	離隔距離を満足しないものは一律すべて耐火被覆を施すという考え方に変わってございますので、以前のような載せ極端なですねええと、構造体にマツオカひずみが生じるといいますと、構造の健全性に影響を及ぼすような温度差が生じることはないというふうに考えてございまして、
1:46:00	その意図でちょっとこの記載のほうからさせていただきました、ちょっと記載が不足していたと思いますのでその旨を形成してスパン追記したいと思います。以上です。
1:46:11	正当化です。ここをちょっと充実して欲しいっていうのがコメントのイトウだったんですな。

1:46:19	時ねつつうメガワット除熱市内側では落ちたときに係る金属へのウノ応力等はどうか。
1:46:29	そんなに気にしなくていいくらいになっているんでしょうか。
1:46:34	日本原燃のサカモリでございます発報した被覆材ですけれどもそのような固いものではないというの確認してございますので、強度には影響を及ぼさないというふうに考えております。以上です。
1:46:49	規制庁です。
1:46:51	例えばですね受熱面がイトウをしてそこで完全に振っちゃ熱されて前地溝みたいなものを考えるとですね構造材の温度がそこで化し加熱されて、温度の上がりが鈍くなってもう片側が全然合わなくなるみたいなこともあるんじゃない。
1:47:11	それからあと、あり結果葉っぱの裏側をしなかったみたいなことがあるんじゃないかなと思う。
1:47:17	うんですから、そういったところを考えると、まあそんなに構造材の温度差があってないだろうってことなんで、何かその辺で定量的にわかるようにとかできるもんなんじゃないでしょうか。
1:47:39	規制庁コサクですけど、おそらく鋼材なので、熱伝導率考えると、
1:47:48	剤としてはそんなに局所の応力が立つというようなものにはならないかなと思うんですけどその辺りの温度分布とかですね集をしてもらったらわかるかなと思います。
1:48:03	先ほどご説明あったように、施工範囲を買えたので、そういう温度分布が違うような鋼材のですね、温度分布が違くなると。
1:48:13	というようなところでの関係っていうのはNASAほど気にはならなかったかなと思うんですけど、今言ったような直接の受熱面と違う面と面というか、蓄光だったら1の横の面は温度が上がるけど反対。
1:48:30	わからないなり、或いは真ん中のつなぐ鋼材のところわからないとかですね。
1:48:37	いうのがあるのであればどうかとかっていうのは、簡単にまとめていただくとして、
1:48:42	もう一つは
1:48:45	除熱の一番手前の面でなくなったので温度差は大きくならないと思うのですね、施工しているところとしてこうしてないところっていう協会はやっぱりあって、
1:48:56	そこがどれぐらいの温度差になるのか応力が立つのかどうかっていうのはまとめていただきたいんですね。

1:49:03	そういうところで全体としてどういう温度分布になるのかに応じてってということだ と思うので、局所等或いは挙手的な範囲でということを一通り整理をして求め ていただければと思います。
1:49:20	日本原燃のサカモリでございましたのを追記するようにいたします。以上で す。
1:49:30	社長からです。
1:49:31	っすね。8 ページ目 5 の評価方針のところでもちよつと構造が欠けた点が復 活して支持構造物通でした。
1:49:45	なくなっているっていうようなところもあるので、ちよつとそこはまた見直してい ただければと思います。
1:49:53	すみません日本原燃のサカモリでございます。ここですれ支持構造物以外の ものが消えた意図といたしましては、映像 4 ポツ 2 の設計方針のところにもちよ つと書かせていただいたんですけれども、支持構造物以外の部位わけですれ その後のですれ。
1:50:11	そのなくちゃバスの設計温度がちよつと僕が設置されているという背景がござ いまして、今度評価を行かずにですれ、防護対策を落とすことを基本としてい るので、評価Bかないということでもちよつと記載が、
1:50:28	内ということでございます。ただその旨がちよつとわかりにくいという御指摘かと 思いますので、それがわかるように、文章を修正したいと思います。以上で す。
1:50:38	規制庁からそこを呼んで確認はしたんですがその繋がりが見えてこないという ところですので、そこら辺、少し補足いただけるだけで結構かと思ひます。
1:50:50	お願いします。
1:50:53	あと 9 ページ目なんですれ、
1:50:57	上の第 6-1 図が、これ何かちよつと違和感がありまして火炎が今は
1:51:06	四隅にあつて、それが倍に中心がそのまま四角を描いているんですが、今回 中心的これ困ると思うんですれ、その辺のほうに行くと、そこ。
1:51:18	あと、
1:51:20	どうなつてますでしょうかっているところなんですれ、
1:51:26	日本原燃の池野です。すいません。これはおっしゃる通りでAdd-4 報連の部分 はどう直径になるつちよつと差が出ると思ひます。以上です。
1:51:40	規制庁かですれ評価のほうはちゃんとそのその半径をキープした状態で解析 されているんですよ。
1:51:49	日本原燃礼儀です。φ以下一遍評価の設定では、そういったようにちゃんとさ せております。この絵の書き方がリースておりました。以上です。はい。

1:52:01	規制庁加熱承知しました。
1:52:04	あとその下 600 点 2 から続く組み合わせのところもですねちょっと別紙のほうでもいろいろ出てきます。
1:52:16	なんか論じ方が組み合わせて、中央長寿移れ年超過確率が十分低いことを確認する。
1:52:25	のことみたいに結論ありきで論じ移されていると。そのの
1:52:30	何か。
1:52:32	今感があります。
1:52:36	やはり目的に沿って評価した結果とこうなりましたっていう論じ方をさせていただきたいんですよね。
1:52:44	でしょうか。
1:52:52	手帳コサクですけど、そもそもその事象の組み合わせて、ここに入る前でも整理をしているような気がするんですけど。
1:53:01	別の資料もありますけど、
1:53:05	ほかの事象も含めてどういう資料構成っていうの説明になってるんですか。
1:53:11	それぞれの事象ごとに別の事象とのって感じでこの位置で全部求める形ですか。
1:53:22	日本原燃の橋でございます。
1:53:25	まず今回記載したベースには許可時の整理資料の説明資料がそれをベースにしているということですがけれども、今回航空機墜落火災との話なので航空機墜落火災委員をベースとした。
1:53:42	書き方に絞って一応書いたということでございます。
1:53:47	ただ考え方としてはちょっと期中が最低人員事象ですので、本来だったら自然現象の組み合わせというのは、防衛庁要求はないわけで、ただそうは言っても、整備士の中でも組み合わせを詳しく論じてるところはあるので。
1:54:05	それにのっかってですね、同じような展開で説明をしたということでございます。
1:54:13	規制庁不足です。今の御説明は、す。
1:54:19	ここに入る前で組み合わせについて論じてるっていうのは自然現象の中での組み合わせ人為事象の中での組み合わせということなので、それに加えてというものは、この内数の中で整理をしています。
1:54:33	ということと理解をしましたので、その上で、先ほどのオオオカの話のありきということではなくてという関係でいうと、外でのその組み合わせの議論も一緒なんですけど。
1:54:48	また担当その組み合わせの必要性について、
1:54:54	ということ言えばよくて、単純に当庫の 6 ポツ 2-

1:55:00	2行目3行目で書いてあるのが、
1:55:03	結論を導くように書いてあるけど単純に方針として、確率が高ければERC低ければやらないと。
1:55:12	いう考え方を変えて、結果低かったから、組み合わせなくていいということですね。
1:55:20	いうふうに書いて欲しいっていうのがオオオカさんの
1:55:24	話ですかね。
1:55:25	規制庁課でその通りです。ちょっと時間がいまいちだったのっていうところですね。
1:55:35	規制庁コサクですけど、原燃もその今ので、十分理解いただいたと思うんですけど、よろしいですか。
1:55:41	日本原燃の橋でございます。
1:55:43	ちょっと今茶津理解が追いつかなかったんですけども、
1:55:49	はい。ありきという形で書いてしまっているという御指摘は、ちょっとどのぐらいの規制庁コサクですけども、もうスズキないんだけど、オオハシさん理解するのが遅すぎですよ。ちょっと会話するのちちょっと辛くなるので、
1:56:06	もう少ししゃっちゃんできる人をフロントラインに
1:56:10	挙げてもらえませんかね。
1:56:12	そこですけど、この日本エヌエビナです。はい。低いことを確認するのではなくて、単純に考え方として確率の高いものはやるし、そうでないものはやりませんっていうふうな
1:56:30	考え方をここに記載するような方向で申請したいと思います。以上です。
1:56:36	規制庁区画ですよろしく申し上げます。
1:56:40	規制庁からあと続きましてですね、ネットロックAとPOS10ページの6.4の
1:56:51	①から④の火災の方から過程が書いてあってその③と①のような同じようなことを書いてあるようなところがあったりですねこれって何でこうなるっていうのは大のみてればちょっとわかるんですが
1:57:08	この前、いろんな
1:57:10	いろんな仮定が入ってくると思うんですが、
1:57:14	ちょっとそういうのをちゃんと切り分けて、
1:57:17	ストリートとか唐突感がないよう、イトウしっかり書くとかを使わないようにするとかですね。
1:57:24	ちょっとその辺はちゃんと考えていただければなと思います。わかりますでしょうか。

1:57:33	日本原燃の斎藤でございます。この 10 ページの投資で通しの 10 ページの①から④について、いきなりこういったその設計の方法に短設定について乾いているということに対して、ちょっと唐突感があるということです。
1:57:51	だということはもう少し流れとして、こういったその四つの項目が出てくるというところをもう少し丁寧に記載しようと考えております。
1:58:01	摂津オオオカですそうではなくてですね、③と④は同じことを違う表現で書いてるんですね。
1:58:11	わかりますでしょうか。日本原燃の斎藤でございます。申し訳ございません。③とか④の同じような表現で記載しておりますが載せ替えその意図というかについては、丁寧に記載いたします。
1:58:25	規制庁化ですのでこれ別なことを評価しようとしているときに並べてあって、かつ、それぞれの背景が書いてあって、それはちょっと背景とか抜いて抜粋してしかも連続で書いてあったということを認識してます。
1:58:42	なんでちょっとそういうところはもう少し確認社も含めしっかり確認してもらっていなかったら直すというところのお願いします。
1:58:51	日本原燃の斎藤でございます。承知いたしました。
1:58:56	規制庁川です。次、10 イトウ 71 ページ目の
1:59:03	6.5 許容温度の設定の(1)のところですね、これがですね、ちょっとマスキング箇所なんで、具体的には言えないんですが、
1:59:17	ここで設定されたものと結果が伴っていないというのが早い話、なってます、本当に
1:59:26	P温度は何度欄だっているところが、結局最後までずっとわからなかったという状況です。
1:59:34	もう少し
1:59:36	結果等も踏まえて、全部関係の着分考えて書いていただければと思うんですがちょっとわかりいいでしょうか。
1:59:55	それから、日本原燃の片田でございます。
1:59:58	ここである温度で許容温度は何度ですよと。
2:00:04	いう設定をしております、それに対して、今回の航空機火災で、
2:00:12	距離が温度上昇値■ではマスキングじゃば温度上昇があるんですけれども、それを加味しても、
2:00:22	ここで示している許容温度以内であると。
2:00:25	いうところがニヒラないと、資料と見えないというご質問。
2:00:30	だと理解しまして、
2:00:33	ちょっとその辺がわかるように記載を修正したいと思います。

2:00:39	規制庁からです。それ、それも含めなんですが
2:00:44	結論のところは全部ですね、ここでは絶対的なものを変えていって、結論のところは全部相対的なものに対して、かつそれがその変動幅を考えても問題ありませんっていうふうに許容能力の比較になってないということもありまして、
2:01:01	逆に今までここで許容温度を設定したのに、それを使ってないんですね結果のところ、結果の考察と論じているところでは何でもうちょっとそういったところで、その変動幅が広範囲であるみたいな話が出てこない。
2:01:18	ですが、そもそもそれは何度だとか、結果と懇話会が繋がってないっていうのがコメントになります。
2:01:29	実際、日本原電のハラダでございます。おっしゃる通りですね、少しあれですね、温度パバの話をしておきながら気温の方に話を進めます振り返ってというか、基本の方で
2:01:47	なんていうんですかね、通知するので大丈夫だというような定性的な表現になってございますので、
2:01:55	こちらのほうをちょっと見直します。
2:01:59	ええと判定基準を示した上で、その範囲におさまるといふ。
2:02:05	ことをいたします。以上です。
2:02:09	規制庁かですね、そこがちゃんと整合されていてかつそれが根拠をもって説明されていけばちゃんとわかるようになっていけばいいので。その辺整理をお願いします。
2:02:20	日本原燃のサカモリでございます。ちょっとすみません先ほどの点補足させていただきますと思います。今すいませんハラダのほうへ御説明を受けてですね、 ■ に対する評価をされるとちょっとここ理解されたかもしれないんですけども、
2:02:35	ちょっとすみません背景的なものといまして4が来温度上昇ですね何度に立つっていうのが非常にちょっと設定が難しいという事背景がございまして、今回ですねその上昇温度ですねそうすね共同ちょっと名. 何ぼっていう数字があったかと思うんですけども、その数字を踏まえてですね。
2:02:54	この冷却と過去の運転実績とかいろいろ我々調べましたけれども、きちんとですねこれ冷却塔の能力に移譲きたすというか喪失するような事態には至らないというのを確認してございますので、そういった旨をちょっと書き加えるように修正をしたいと思っております。

2:03:11	共用のに対して何度だから大丈夫ですっていうのはちょっと今スプレイ人形しにくいというすいませんその背景がございますので、そういった記載にちょっと修正させていただきたいと思います。以上です。
2:03:27	規制庁課です。ちょっと
2:03:31	違和感があって公開する状況。
2:03:34	機能を
2:03:35	全うするための温度っていうのは絶対温度で点にできないものなんですか。
2:03:46	ちょっとすみません。
2:03:48	規制庁の古作ですけど、今書いてあるのが、
2:03:54	正しいことが書いてないっていうことを今説明されたような気がするんですね。
2:03:59	何でもまずはちゃんと書いてくださいっていうことで、
2:04:03	しかも非公開情報、今、
2:04:05	地公開と言われてる内容いっぱいしゃべっておられたので。
2:04:11	一般論でいえる範囲中ということであれば精査をしておいていただければと思うんですけど。
2:04:21	やってることをちゃんと書いていただいくっていうのをまず最大金やっていただきたいと。
2:04:28	そうしない等を以南のオオオカの聞きたかったことっていうのも直接話ができないので、もう整理をいただきたいんですけど、一方で、そこは冷却塔のところでの冷却水温度の話になっていると思うんですけど。
2:04:47	冷却性能っていう関係では、その次に熱交があって、
2:04:53	最終的に冷やしたいと思う。初層とかになっているということで、それぞれに
2:05:01	機器を設計するための設計条件としての温度設定がされているはずなんですね。
2:05:08	なのでその運動条件を逸脱しないかどうかっていうことで判断できるはずなんですけど。
2:05:16	それを超えるんですけど別です。
2:05:19	冷却性能を評価して大丈夫だっていうようなことまで言いたっていうわけじゃないですね。
2:05:25	おそらく、多分通常の変動幅に入りますっていういろんなぐらいのイメージで話をされているような気がするので、であれば設計条件である温度を超えませんが十分じゃないかなと思うんですけども、どういう評価になってるんですかね。

2:05:40	日本原燃のハラダでございます。この点はですねTRPの補足説明資料のときにも述べさせていただいたですね、いわゆる一般的な区長例を設計でございます。
2:05:55	外気温設定をした上で、まああの、許容温度何度という設計をしてございますけれども、作りがですね外気温設定極値を求めて設定するんじゃないですね。
2:06:11	一般的なの超過確率は1発で21%以下に抑えるような会見をまず設定した上で、
2:06:22	時温度何度って、整備するというええと、仮にですねその1%を超えたとしてもですね、
2:06:32	設計上十分な余裕を持っていますんで。
2:06:37	今回の航空機火災における温度上昇もその余裕の中に入ってますよというふうな評価結果をお示したいと。
2:06:50	ああいうふうに考えております。
2:07:00	規制庁補足ですけどそれだと先ほど、そういうことをやってるのではなくてといったことと何かそこがあるような気がするんですけど、
2:07:10	なんですかね。でも一方でその数値設定をするときに、
2:07:16	そもそも
2:07:19	外気温の変動幅の11%云々だっていうのを、
2:07:25	にこういう外乱まで含めて、
2:07:30	それでも1%の範疇なんだというのかみたいなどころとか、ちょっとよくわかんないんですね。
2:07:36	外気温の一番、
2:07:39	厳しい条件プラス、これが起きたらっていうことは考えなくていいっていうことですかね。
2:07:45	これも環境条件の組み合わせの話になるような気がするんですけど。
2:07:53	日本原燃のハラダでございます。まず1%でその海峡に需給と超えることもある余裕のある設計でございますし、あと、あわせてですねこれADRピンクにもお示しましたけれども、
2:08:14	過去の最高気温を記録したときに、じゃあどうだったかというのもですね、併せて
2:08:21	説明の中にはいってですね、／その時が35°ぐらいまで上がっているんですけども海峡がそれでもう冷却水温度というのは、許容温度を超えないと。
2:08:37	いう過去の実績もございますので、この二つを合わせてですね、今回報告き

2:08:45	円による温度上昇プラス概況の最高温度を考慮しても冷却温度、共同超えないというふうにまとめようと進めておりました。すいません日本原電かつ貯槽させていただきますが、
2:09:01	今回の事象っていうのは、先ほど重ね合わせの議論と同じように、発生確率考えても、そう最高温度、環境の最高温度に重ね合わせるようなものではなくて、
2:09:17	通常の評価の、その辺の範囲内に入っていけばいいというふうに考えておるといことです。以上です。
2:09:32	規制庁コサクです。いくつか話ありましたけど、そういったところが読み解けるようにしないとどう評価なんだっていうのがわからないと思うんで。
2:09:41	まずはしっかりと書くということで、あとはなるべくちゃんと話ができるように、機械じゃない状態で提示いただくことということで対応進めていただければいいんじゃないかなと思います。
2:09:56	基本的にハラダです。承知いたしました。
2:10:00	スズキオオオカです。続きまして、規制庁田尻ですと4のところでもう1点だけ聞いてもいいですか。
2:10:09	今、許容温度で冷却水等鋼材とコンクリートの許容温度が示されてるんですけど、ここを先ほどお話したように原動機とかもいたと思うんですけど、原動機の動作温度とかのほうで許容温度で設定する必要ないっていう整理でしたっけ。
2:10:29	日本原燃わけですけど、ちょっと加えてやると、先ほどの4ポツ2だったかなんかで外しますといったような気はするんですけど、一方で斜熱盤の話をするときに評価をしていますというふうに言っていてですね。
2:10:44	そこら辺を整理した上で話をまとめるっていうことが必要かなと思うんですけど、
2:10:51	それも含めて回答いただけますか。
2:10:54	日本原燃田中でございます。先ほど私の方から通さ熱盤の中のほうの機器について確認していると旨発言さAといたしていただいた通り時計温度の設定として記載することが必要だと思い、思います思いますので。ここについて
2:11:12	適切に記載したいと思います。
2:11:17	規制庁あたりでその場で空気をとかなんか出てくるんですかね。
2:11:23	日本原燃田中でございます。抵当空気温度のほうも定点てます。
2:11:29	規制庁田尻です。どんな全体変わる気がするんで整理願います。はい。
2:11:36	日本原燃田中でございます。了解いたしました。
2:11:44	出納課です。ヒアリング開始から2時間以上経ってますから、余計入れますか。

2:11:54	はい。日本原燃できないです。当県警を入れていただければと思いますが、お時間をしません。
2:12:07	規制庁かですね。そしたら
2:12:10	約 7 分ウノ 50 分ということも十分でいかがでしょうか。
2:12:16	はい。日本原燃の池田です。そうしましたら、15 時 50 分から再開ということでよろしく願いいたします。
2:12:25	規制庁加熱よろしく願いします。

0:00:02	日本原燃阿蘇で規制庁の田尻ですそれでヒアリング再開したいと思います。現在説明等願います浴び面というのはこちらから欲しいかな願います。
0:00:12	すいません日本原電のエビナです。ちょっとまず冒頭にお話がありましてええと先ほどのヒアリングの中でですね、当マスキングの内容ではないようですねはなしてしまった部分がございますのでそちらについては削除のほうをお願いしたいと思います。
0:00:32	ます。はい、それでは 5 資料の説明を説明というかそうですね、ヒアリングの再開願います。
0:00:42	はい、規制庁からです。
0:00:44	続きまして、7 章なんですけど、ちょっと冒頭いろいろな情報が含まれているということと別紙から展開されていますので、ちょっと別紙が指摘したところになるとは思うんですかわからなかったところがありまして、
0:01:00	例えば増資 12 ページ、7 編に引っ張り回復の(2)。
0:01:05	のところからですね、今ここは先ほどもちょっと言いましたが、
0:01:10	防護ネット自体に、
0:01:12	今
0:01:16	学校とかその目立った部材だけになってますが、もっと竜巻側は後程
0:01:24	補足説明資料なんかなくいろんな部材が出てきていて車両が通るところとか防護版とかもいろいろ出てきますんでそういったところをどうしていくのかみたいなこともわかるように、
0:01:38	してくださいというところです。
0:01:42	サトウといったものを使う関係してですね 18 ページ目 19 ページ目 マスキングされている冷却塔のところなんですけど、これ市と主柱が、
0:01:56	それぞれのずれが整合してない。
0:02:00	具体的な塗装範囲っていうのが、それをしてないのでの等々もあるのでちょっと再確認していただければと思います。

0:02:12	日本原燃田中でございます。まず最初の御指摘ありました。飛来物防護ネットについて、飛来物防護ネットといまして今ここに図でお示している以外に様々な部品等が確かでございます。そちらについての売り上げについて確かに表現を仕切っておりませんのでそこについては追加したいと。
0:02:31	思いますけど、ちなみにですけれども点目にある防護板に関して塗装塗装するという内容に妨害、こちらについては追加どうなります。続きましてええと冷却塔のほうのご指摘についてなんですけど、こちらについてはちょっと内容のほうへと。
0:02:47	バックにECCS反映したいと思います。
0:02:52	規制庁、岡ですよろしくお願ひします。7.3の放射熱盤ほうも先ほどの議論で、20ページですね、シミズページ充実されるということで、ちょっとこの辺はかなり今後変わってくるんじゃないかなと思うのとあと別紙側でいろんなを確認したことがありましてそこは
0:03:12	に基づく反映も結構多い延べちょっとそこは別紙のほうに移らせていただきます。
0:03:22	ちょっともう、別紙の構成もいろいろ変わるということでしたがまず別紙で書いてあることに対して、確認させていただければと思います。土1ノッチ25ページ目のところ、
0:03:44	よろしいですか。
0:03:46	ここ概要とかもいろいろ補足説明資料のトップにあるようなことが書いてあったりして別紙の構成をとれてないんですが、これは別として残すという話でしたのでしっかりしていただければと思いますんで、同市20。
0:04:01	7ページ目又マヤマつきぐ箇所なんですけど、
0:04:06	中の配管の位置関係とかなちょっと
0:04:13	よくないというところで、
0:04:17	その辺少し具体的に知っておきたい情報が結構ありましてもう少し
0:04:24	例えばどうやってここを押さえていてでどういうところに施工するとか初めにあったような売価出向同施行するとか、こうやって防護するといったようなところ、少しわかり
0:04:37	議論にもう少し説明いただければと思います。
0:04:47	はい。
0:04:48	日本に入れる消火系と日本原燃田中でございます。今のご指摘については、配管は冷却塔の分布をとっているかわからないため、別途質問と理解したのですか。その通りでよろしかったでしょうか。

0:05:02	はい。それからに関してはその通りです。他にも何かもうちょっとわかりやすい図がありませんかというところなのですが、
0:05:12	日本原燃田中でございます。わかり配管の配置がわかりづらいという点については図面のほうへと追加するように対象いたします図面のほうがわかりにくいという御指摘につきましては、この図面他の評価部位選定どれも大体同じ図面を使って、
0:05:31	おりましてすでにわかりづらいついていうコメントを何回かウエート受けているという認識を持ってございますけども、こちらについてと何かという見直しをできるよう見直しをしようとして今考えておりますも米と説明ねと反映したいと思えます。
0:05:48	規制庁課です。そう例えばですねそれぞれのパーツ部位ななんていう津波のどこでどういうふうに予定されているのかとかですね。
0:06:04	続いて、
0:06:05	ところがどういうふうに配置されているのかとかそういうところがやっぱりよくわからない図になっていますのでちょっともう少しわかるようにっていうのがちょっと押して出てきてからまた前ライナと思えますのでよろしく願います。
0:06:21	日本原燃田中でございます。今の御指摘については別途おそらくドップラどこまでがどの部品だつていうのがわからないというようなご指摘だと思います。色をつけるなりしてと、この部品の色の場合とこの部品であるような、そういう系統を見せ方を
0:06:41	タブレットご理解いただけるかなと思いますので、そういういった対応をしたいと思えます。
0:06:47	規制庁からです。はい。そういう対応でまた出てきたものを別途確認させていただきます。
0:06:54	28 ページが先ほどコメントともかぶるんですが、この本竜巻防護ネットもやはり、かなり
0:07:06	省略されている印象を受けましてもっとたくさん部材合併もっとそれぞれの部材がいろんなことをいろんな機能を果たしていると思うんですがそういったその部材それぞれの機能からに基づいてこの文書ですので、
0:07:21	そういったところ、する際に被災した図にさせていただきたいんですが、
0:07:31	日本原燃田中でございます。詳細に示した図面のほうは炉外と竜巻の 16 のほうでそういった図面を用意してますので、そちらのほうを用いてご説明をしたいと思えます。

0:07:46	規制庁化ですよろしくお願ひします。あと 29 ページ目これ警備の話なんです が、国産遮へいしているところなど、この資料を使われてまして、放射線遮 へいの観点を何かかぶっちゃうんで、
0:08:01	今回発熱特化したようなものが多いと思うんで、加熱というふうに表示してい ただけたらと思いますか軽微な話です。
0:08:13	日本原燃田中でございますけれども、ほかにこういった記載はないかも確認し た上で全体まとめて修正したいと思います。
0:08:21	規制庁ヶ月よろしくお願ひします。29 ページ目、
0:08:27	込んだりというヶ月ねこの資料で一番説明したいところが消火対象の選定だと 思うんですがそれぞれの
0:08:35	ご異議がどんな機能を果たしてるからこうやって選定されますっていう部分が 抜けていると考えておりますので、
0:08:44	つまりそ、こういう機能を果たすためにこういう動きをしていてデータの補強と めないために、
0:08:53	温度女の子の部位にこういうの。
0:08:57	評価対象の運動建てるんだというような資料だと思っていてそのそれぞれの 果たす機能みたいなものがまるでないんですがそういうのを追加いただくのは 可能でしょうか。
0:09:11	日本原燃田中でございます系とそれぞれの部位に対してと期待されている期 待している機能へとそういった説明のほうをじゃあ済みについて記載を記載を 追加したいと思います。
0:09:27	はい。
0:09:28	規制庁化ですよろしくお願ひします。あと、そういうそこがかなり充実してく ると、この資料も大分地下に合併のよいものを議論しやすいものになると思うん ですが、33 ページ目でちょっと一般の末という箇所南米気をつけていただき たいんですが、第 4-4 表、
0:09:48	3 クドウ分のファンB系も、
0:09:52	扱いがなんや原動機ある減速機のところでこういう扱いになってるのかってい うのがちょっとよくわからなかったというもの超過内容と防護設計のところで、 このファンに居るの扱いていうのをちょっと教えていただけますか。
0:10:17	日本原燃ただかでございます。ちょっと質問の意図がちょっとうまく掴めな かったので、もう一度お願いしているしいでしょうか。
0:10:26	規制庁からです。マスクング箇所なんであんまり議論する。
0:10:32	という感じではないんですが、
0:10:39	パンク土木の不安リングが、

0:10:42	評価内容防護設計のところ、
0:10:51	沢山を記載されていてですね。
0:10:55	これがつつ、どういうその設工認上の扱いになってるのかというところ。
0:11:05	つまり、
0:11:07	運営。
0:11:09	防護設計の内容の一部として扱っているのかというところですので、そういったところを教えていただければと。
0:11:19	日本原燃田中でございます。／山林部の方についてたんですけれども、別途、こちらを来ますマスクにかかるかな等を施工することに
0:11:36	よって、
0:11:40	そこにそのたええと遮へいが伝ええるもの、具体的に言うとSと知性利用も通りますし、計通しページの 30 ページ第 4-1 図、
0:11:55	パンリングと別途中にあるものっていう位置関係を示してございますけれども、そちらの中のものファンディングを塗装することによって、守られるっていう趣旨のほうを記載してございます。
0:12:15	規制庁からです。
0:12:19	つまりファンリングにも御防護設計をした結果、
0:12:24	管理部も期待できるものになりましたみたいな扱い。
0:12:30	を考えてよろしいんでしょう。
0:12:35	日本原燃田中でございますシステムへとファンディングネット塗装した結果、栄養投げと期待ができるようになったということになります。ええと御理解の通りでございます。
0:12:48	規制庁プラスまずはちょっとその辺
0:12:52	今の記載だとそこがちょっと読みきれなくなってますんで、ちょっとそういったところをもう少し、
0:12:59	はい、いただいてきをつけていただいたのは設工認上どういう扱いにするのかという観点でも少し
0:13:09	記載ぶりを考えていただければと思いますんで、そこはよろしく願います。
0:13:15	日本原燃田中でございます。当設備に上程たいところがと防護板のようなとも載って明記するかしないかという、そういったところって言うふうに理解しました伝えないとしても整理いたします。
0:13:28	成長からそれでよろしく願います。
0:13:36	と。
0:13:39	同じ事象の中で、

0:13:50	テレビですが、観測食うの劣化部の僕も設計がもう抜けているとかそういうのがちょっとありましたんで、そこは見直していただきたいと思うんです。
0:14:05	あとはですね、3 ページのコサクです。すいません一つ前のその方パンリングの扱いですけど、大元の 4 ポツ 1 とかになると。
0:14:17	冷却塔の冷却水知り構造物以外の部位。
0:14:22	支持構造物ということで、
0:14:24	この分離でいけば支持構造物以外の部位っていうことになるんですけど。
0:14:32	ちょっと一応分類としてはそのまま、その中での評価、設計方針評価方針ということでまとめていくっていうことでもいいんですかね。
0:14:47	地域。
0:14:50	はい。
0:14:56	結果、
0:14:57	日本原電タナカ日本原燃田中でございます。ご指摘おっしゃる通り、これについては指示構造物以外のものなので、そちらのほうで整理を続けたいと考えております。
0:15:15	規制庁不足です。わかりました。だからあれですね支持構造物以外の部位っていうのが何ぞやっていうことの中でその次の部位ごとに
0:15:27	期待する機能というのがそれぞれあってそれによって温度条件とかも違ってっっていうこと等なので、それらを分解して話をさせていただいて、その中に防護対策とかっていうのもあって、
0:15:43	いうことの中、あえてした熱盤との関係っていうのを整理をしてまとめていくということですね。
0:15:50	日本原燃田中ですけどその通りで対応したいと思います。
0:15:55	規制庁の古作です。わかりました
0:15:58	その意味だと二つの機能を逆に担う形になったりもするので、そこでうまく表現できるように工夫していただければと思います。よろしく申し上げます。
0:16:11	日本原燃田中でございます。承知いたしました。
0:16:16	規制庁からです。あとCTに関してあと最後一つなんですけど 34 ページ目で飛来物防護ネット等のことが展開されているんですけど、こちらが冷却塔に比べて大分記載が移ってですね、最後のまとめ表も、
0:16:32	結局どうするのかは書いてないところもありまして、平仄を合わせるっっていうところをまずはあっていたらいい冷却塔のほうに出したコメントを踏まえてそれに合わせて所則を、
0:16:48	だからそれをいただければと思いますんで。
0:16:51	よろしく申し上げます。

0:16:53	日本原燃束でございます。とりあえず等で受けました。指摘を踏まえながら冷却塔の
0:17:00	もっと外との記載がしっかりしているということもありますのでそちらの記載等へと横並びをとりながらと内容について修正したいと思います。
0:17:10	規制庁からあと初めのほうに図のほうにもっといろいろついているというふうにコメントしましたがそういったそのついでのものも全部網羅的に出していただきたい整理していただくのがいいと思いますので、その辺、
0:17:26	次の次に確認させていただきますのでよろしくお願いします。
0:17:30	日本原燃田中でございます。了解いたしました。
0:17:36	規制庁オオオカです。別紙1に関しては私からは以上なんです、カードの方からでございますでしょうか。
0:17:47	特にないようでしたら別紙2のほう、許容温度の考え方に移らせていただきます。
0:17:55	許容温度、こちらは前出していただいた資料からあんまり受ウノ変わってないんじゃないかなと思います。まず初めのほうで議論もありました通りちょっとあの長期
0:18:10	10だけ考えるっていう部分が根拠等をちょっと充実させて今まで許可のほうで整理しているから別にいいやじゃなくてですね、一つの文章としてなぜ短期をウノ重畳しなくていいのか。
0:18:26	何で長期許容応力度を採用したのかっていうところで念押し論じていただければと思います。今までもいろいろ議論してきたところではございますので、その辺をちゃんと不足し残しておくっていうところが
0:18:41	必要かと思えますのでよろしくお願いします。
0:18:46	はい、4名です。
0:18:50	ちょうど話とか、ちょっと離れてしまうので、緑でここにちゃんとここにもですね、ちゃんとそういった内容を記載して、だから、当町協力でいいんだみたいな記載に修正したいと思います。以上です。
0:19:10	それとオオオカです。土地協力のクドウ。
0:19:14	もう、やっぱりいろいろ議論があるところではありまして、許可のときにとってるから、これ使いますではなくてねなぜちょっと揚力のクドウを採用しても、すると波及的影響与えないのかっていう部分。
0:19:31	もうもう少しづけが必要なかなと思いますので、途中で折るの関係で今回設工認ということで詳細設計に当たりますので、地方されている。
0:19:44	東西それぞれがこれに該当。

0:19:48	ちゃんと包絡しているのか、同じ温度条件で設定しても問題なのかっていうことも追加で論じていただければと思うんですが、いかがですか。
0:20:00	日本原燃の斎藤でございます。使用している鋼材につきましては、端側項についてはSS材等様々あるのですが、
0:20:10	それらはいずれも難航といういわゆる難航というのは何個分類されるというような整理で、
0:20:17	整理はしていきたいと考えております。以上です。
0:20:23	正当化です。私もいろいろな文献探したりはして、あまりそういったその各講座類に対してその温度挙動をちゃんと示しているようなものでかなり少ないんだなっていうのは理解はしていますのはちょっといろいろ現場側でも探していただいたかと思うんですがどうみんな感じでしたんですか。
0:20:48	てー日本原燃の斎藤でございます。こちら、我々例えばですね一般的なその文献はもとよりですね、潜航発電度様の資料飲みながら、今検討しているところですよ。それによりますと、
0:21:06	地方されてる構造材については、いわゆるその南方という分類をして、それほど熱的な条件と条件というか、物性値変わらないといったような整理されているところ、見かけますので、そういったところも参考にして整理をしております。
0:21:25	規制庁からです。もうそういったところの段階でしたら、ちゃんとまたいただければと思いますので、よろしくをお願いします。
0:21:35	別紙の2に関しましてはコンクリートの話がありますが、コンクリートに関しては、今までもさんざん実用炉等でやってか8として許可のほうも、こういう説明になっていました。
0:21:50	あとほか共用等はそこでは指名レースなくて大丈夫なんでしょう。Ricou防災とコンクリート従います示されてませんが、先ほどの議論等を踏まえると、ここにいろいろを考えなきゃいけない切迫考えを書かなきゃいけないものっていうのは、
0:22:09	ありませんでしょうか。
0:22:28	日本原燃の斎藤でございます。先ほどご指摘していただいたの原動機等の許容温度に関するところだと理解しました。それにつきましても許容温度設定させていただいてますので、その考え方については、
0:22:43	記載させていただきます。
0:22:47	それで超過です。抜けなくやっていただく必要があるんじゃないかなと思いますので、そういうところも気にしながら、よろしくをお願いします。
0:22:57	別紙2に関しまして私からは以上なんですのほうからありますでしょうか。

0:23:10	ないようでしたら別紙3のほうを先ほどもちょっと議論になりましたが、航空機墜落火災等他事象との重畳のところに移らせていただきますので、こちらも先ほど結構いろんなことで議論がございましたが、
0:23:27	ちょっとやはり始めのところの展開が少しざっくりしているということで、
0:23:36	以前現象の選定根拠とか頻度の根拠とか、いきなり始まっているので、もう少し
0:23:45	年に
0:23:47	説明していただくのがいいかなと思いますので、
0:23:50	でしょうか。
0:23:59	日本原燃の橋でございまして、各個別の地震だとか竜巻とか火山の年超過確率の数値だけではなくて根拠から示すというそういう御指摘でしょうか。
0:24:12	規制庁化ですそういった数値がいきなり出てくるっていう面もありますがまずなぜこの
0:24:20	事象を選択したのかっていうところから、今はないので、
0:24:27	そう。そういった背景も含めなんですが、でしょ。
0:24:34	今まで延ばしてございます。
0:24:36	自然現象全体について論じるという、そういう御指摘と理解しましたがあってますでしょうか。
0:24:44	規制庁オオオカです。
0:24:46	全体というよりはなぜこれらが選定されたのかで
0:24:52	これらを選定してかつ、これらの頻度が出てきたっていうところはいきなりぼんと出ているので今認識されたような形でよろしいですがスポンサーに書けということではなくてですね、期間がないように、
0:25:08	まとめて欲しいっていうところですので、その他自然現象で展開しているようなことを全部あけという面ではありません。しっかりと必要なものがこれこれで、それはこういう理由で別で、それらの頻度っていうのは、こういうところがありましてで、これにな
0:25:28	こういう考え方で組み合わせますっていうようなところをもう少し丁寧に論じてもらいたいというコメントです。
0:25:37	名の話です。許可のときに事象を分類してるところがありますのでそれをもとにしてちょっと論理立てて作成しようと思います。
0:25:49	規制庁、よろしくお願ひします。あともちろん12ページの、もう深度から判定する部分っていうところをかなり定性的な表現が多くてですね、こういったところもう少し許可のときはいろいろ
0:26:05	やっていたと思います。この辺の結果の部分を

0:26:11	時たり指標等持って論じていただければと思うんですが、
0:26:16	だから、
0:26:29	ボンベ練馬ベースプレートはわかりました。
0:26:35	地いたします。
0:26:41	続きオオオカです。あと先ほどあったようなその復旧関係とか、そういったものの追記いただくものと思います。あとですね、42 ページ目の 2 ポツの
0:26:53	2 段目の 2 行目に、
0:26:56	時間経過とともに支持架構の温度が上に戻り強度も元通りの状態になるというふうにしたい。あるんですが、
0:27:07	その長期許容応力を採用した場合でも、これ本当に
0:27:13	今日も鳥取に戻っているとおあるんでしょうか。
0:27:19	日本原燃の三明です。こちらについては、そういった実験結果を何かでまとめて論文をががありますんで、そちらのほうを引用してエビデンスを明示したいと思います。
0:27:35	追徴加熱ウノそれでしたら、そういう視点を出していただくだけで結構ですのでよろしくお願いします。
0:27:42	もうこの資料 2 からしまして私からは以上なんですが、ここからわかりますでしょうか。
0:27:54	もしないようでしたら、当町からもあります別紙 4 のほうに移らせていただきます。シヨウ支持構造物の評価、離隔距離表作成ということで、
0:28:05	こちらのほうも、
0:28:07	移転出していただいたものをかなり充実してもらった感じで。
0:28:12	40646 ページ目で平板でモデル化することをまずは論じていただいているんですが、前の資料では考えないかんで
0:28:28	いろいろ保守性を説明して、
0:28:32	あったと思うんですが、今回、蓄光だけになってまして、いろんな条件が変わったとはいえですね
0:28:43	その辺他の鋼材価格肝炎感ていうのもちゃんと底盤でモデル化してそれが保守的となるっていうことをちゃんと説明していただきたいんですが、べし
0:28:56	それと日本弁のエビナです。こちらについてはサッカーんだとか当然変化も含んだ話には考えておまして、ちょっとあの図を期待したのがちょっと蓄光だけにはなってしまったんですが、それぞれの
0:29:14	例えば各科んだとかエンターについても、疼痛をすべて展開さはよろしいということですよ。
0:29:24	成長とかですねわかり安ければ図も必要かと思いますが、

0:29:30	ちょっと、ちゃんと今わかるので図までは要らないのかなと思っておりましたが主催の程度に応じておまかせします。
0:29:39	日本原燃エビナれつつ装置ましたその前段の文章のところで
0:29:46	ちゃんとアップ感だとか演算が含まれるということをもう少しわかりやすいようにして 1kmもほぼ修正していきたいと思います。以上です。
0:29:59	規制庁川ですよろしくお願ひしますと 48 ページ目の 3-3 表でこれ前も出していただいたところなんです、
0:30:10	周囲雰囲気温度がおそらく以前 40° タナカ 25 に変わったと思われるんですが、ちょっとそれはなぜなんです。
0:30:34	日本原燃の斎藤でございます。
0:30:37	別途、こちらの修理雰囲気温度、2 月の資料ですと 40 度になっておりましたが、今回の 29 度にしておりますのは、
0:30:51	水けど自体が来最大の温度といいと。
0:30:58	40 度、
0:31:05	失礼しました少々お待ちください。
0:31:08	日本原燃のサカモリでございます 29 度でございますけれども、ちょっといろいろ数値を精査したところをADRBのほうにですねばい菌の債権企業温度 29 度というのが宣言されておましてそちらのほうで、それとこの評価とかも見てですね統一するのがふさわしいと考えましたので今回 29 ドル、
0:31:28	私のほうを図らせていただきました。以上でございます。
0:31:33	大きく超過です。
0:31:35	イトウレートですね、
0:31:39	必要離隔距離は結局変わらなかった。
0:31:43	うんですよね。
0:31:46	日本原燃の斎藤でございます。必要な離隔距離につきましては、
0:31:51	この 29° 40° から 29 度にしたことによる影響、
0:31:58	によって変わっておりませんが、これ計算して非常に確認表は 2 月から多少、
0:32:05	変わっております。
0:32:08	本施設オオオカでそれはなぜなんです。
0:32:16	日本原燃の斎藤でございます。こちらの 2 月からの変更点といたしましては、こちらの雰囲気温度の 40 とか 29 条への変更等、あともう一つございまして、円筒火炎の大きさ、2 月の時点ですと 90 平方メートルを円筒に換算したときの半径としてウノ 5.3m、
0:32:35	こういう輝緑岩沢山ですが、これをこの数値の丸めを改めてですね 5.5mとしております。その影響火炎の大きさを

0:32:45	多少ちょっと大きくなった影響によって、必要離隔距離がいくつか変わっております。
0:32:55	静聴返すウノウね、燃焼面積も
0:33:00	ちょっと数式上、
0:33:03	どっちが保守的かみたいなのが曖昧なところがありましてはまるめたっていう判断は、それをすてき側にホシノに移るからっていうことでよろしいですか。
0:33:14	日本原燃の斎藤でございます。
0:33:17	その通りでございます。
0:33:21	規制庁化ですと、
0:33:25	衆院基本なんですけど以前 40° でやったっていう理由はありますでしょうか。
0:33:54	日本原燃少々お待ちください。
0:34:22	日本原燃の斎藤でございます。こちらの 40 度につきましては、29 度に対して保守的に以前の考えでは 40° として設定しておりましたが、先ほどサカモリは説明したように、今回整理しました。
0:34:43	規制庁ヶ月 40 トンの方が大分保守的な評価だとは思ったので、今回何んかなと思ったんですが、浜岡の資料全部 20 クドウっていうのもあって、それにそろえたのかという感じではあるんですが
0:35:01	ちょっと
0:35:04	というところが、
0:35:07	次、
0:35:08	その辺、例えば、今回 20 クドウって書いてあるものも本当とかですなやっぱりそういう根拠一つ一つがちゃんと
0:35:19	開かれてないですね。南米設定したのかで変わったときに変わったのかわかっていうところも含め、こうやっているんな確認をしなきゃいけなくなっちゃいますんでまずそういうところをしっかりと以降、
0:35:34	なり何なりに変えていただければと思います。
0:35:38	よろしくお願いいたします。
0:35:40	日本原燃の斎藤でございます。
0:35:42	人を通しページで 48 ページの第 3-2 表、第 3-3 表とともに備考がございます。その中で、
0:35:52	どういった視点からこういった数値持ってきてるのかと抱えているものと何も書かれてないものがございます。一つ一つの設定につきまして、こういった一つ一つの数字に対してどういった終点から記載しているのかということがわかるように、

0:36:08	記載いたします。
0:36:10	はい、規制庁からです。こうもそういった根拠が出てない人管理に対して確認を当然しますので、もし自分たちでここも出てないところ出てないとなれば実績にそうやって改善していただけると助かりますのでよろしくお願いします。
0:36:29	あとサービスコメントになるんですが、
0:36:32	結局ですね資料へ書かれるのかどうかわかんないんですが、申請設備のどの部分の部材のことを徹底するかの変換形状で開発が、
0:36:44	南保でっていうのが、結局申請設備とリンクずつできるものがまだできてないんですね、そこをわかるような増にやはり早々にしていただきたいんですが、
0:36:56	いかがでしょう。
0:37:22	日本原燃いただきでございませシステム資料中に明示はついていないんですけれども、この代表の意図といたしましては、搭載へと3回の申請設備例と冷却塔鉄塔守っているとも竜巻飛来物防護ネットの方が、
0:37:42	賠償最外周で一番近くに鉄塔火炎を浴びる設備となっております。その設備に対してと外債当該周年にある一番薄いものとしたしまして、当飛来物からイトウへ飛来物の絵と衝突を守るための防護板がございませ、そちらのほうの板厚が
0:38:02	9mmのえと平板となっておりますのでそちらのこちらの代表、代表した形状のやつとリンクするような形となっております。
0:38:13	規制庁からです。それは理解しているんですが、一方ですね、例えばこの資料の結論である必要離隔距離の算出結果な
0:38:25	投資 52 ページの第 5-1 町とか、本体側にもついていませ、
0:38:32	根井の曾材料以下圧で必要離隔距離がそれぞれ安重とあと波及的影響米それぞれまとめてあるんですが、
0:38:42	結局この京都、それに戻って対応する。
0:38:48	ですね、確認できないという。
0:38:53	状況が続いてませ。その辺ってどうなんだろうかっていうことなんですが、
0:39:10	結局、日本原燃いただきでございませ。本文のほうの
0:39:13	図面の別途図のすいませ。防止の 14 から、
0:39:24	19 ページにそれぞれの図を示しておるんですけれどもそちらについて一応離隔距離の距離自体は入ってはいるんですけれどもその該当する板厚が都内っていう旨の指摘だご理解
0:39:40	いたしました影響、これらが紐づくえと用にちょっと図のほうを言えと表現を加えたいと思うんですけれどもそれでよろしいでしょうか。
0:39:50	規制庁からです。

0:39:53	参ったやつもそうなんです、材料のほうパソコンしてるやつ降雨の区別も今、それからプレスするもん。
0:40:01	日本原燃たかぐらいの失礼しました東西両含め対応いたします。
0:40:08	規制庁オオオオオです。設工認で詳細設計でそれを審査しているので、ちゃんと離隔距離を満足できてないところがないかっていうのも当然審査項目ですし申請者もそれを責任持って説明する必要があると思いますので、
0:40:26	そこはちゃんと完結した場所として残すようにお願いします。
0:40:34	日本原燃田中でございます。承知いたしました。
0:40:38	規制庁かですね、あとこれも再コメントになるんですが、しっかりスピーカー距離を評価するのに独自でいろんな数式展開をしてもらってその数式と書いてあるんですが、やはり物性値をやはり先ほどもありましたが、物性値が、
0:40:56	ないっていうのと、あとこれも前回コメントなんです、人的パラメーターのメッシュとかですね、いろいろ例えば域ステップ間隔 0.01 っていうように書いてあったりするののはするんですが、それが、
0:41:12	妥当な設定なのかどうかっていうのは、確認しておきたくて、前回も話しました業界大手 0.01 というのは、
0:41:21	タイル粗い認証持っているので、
0:41:25	そこを細かく、例えばんやって設定したもので、
0:41:31	わからなく定例計算コストの観点で 0.01 を設定してますみたいなことを示していただきたいんですが、
0:41:38	べし
0:41:42	日本原燃の斎藤でございます。熱物性値として示して物性値につきましては、気体場借りてないところ、
0:41:52	戸籍の通り耐火ませんので追記いたします。
0:41:56	計算の妥当性につきましては、通すページの 99 ページ。
0:42:02	の(7)の計算パラメータ設定の妥当性についてといったような
0:42:09	ところで、
0:42:13	このような計算の妥当性の確認に計算の妥当性についての確認しております。
0:42:20	しかしこの 99 ページ目につきましては、
0:42:27	また別の評価、
0:42:32	ちょっと、
0:42:33	起伏厚さの設計に関する計算ですのでまた別に計算になりますので、この必要離隔距離の算出。
0:42:44	営業のため、

0:42:46	2、それ、その計算の妥当性がわかるように、同じように同様に追記いたします。規制庁化ですと同様にじゃなくてですね、このパラメータ設定の妥当性の部分に書かれていることは収束がしっかりできるかっていう安定性の話なんですね。
0:43:06	一方で、こちらが気にしてるのは、4日以降で時間ステップを解くっていう時に対してしっかりした誤差が少ない数値を出す人間的パラメータ—離散化パラメータを設定してるのかっていう部分を気にしています、
0:43:25	つまりメッシュ。
0:43:27	分解能は足りてるのかっていうことを気にしていますだから収束の安定性とはちょっと話が違うんですが、
0:43:35	日本原燃の斎藤でございます。失礼いたしました。こちらの、例えば来時間刻みにつきましては、いくつか変更しての計算を行った上で、あの結果がそれほど変わらないといったような確認はしております。
0:43:51	そういったことがわかるようなわかるように追記いたします。
0:43:56	規制庁かですね、その辺、
0:43:59	桁間入れ例えば 0.0010. 001 とかそうやって刻んで一定参照解となるべくするものと大して変わりませんみたいな説明をしていただくのが一番シンプルかなと思いますのでよろしくお願いします。
0:44:18	別紙 4 に関しましては私からは以上なんです、ほかどなたかありますでしょうか。
0:44:28	もしないようでしたら別紙 5 のほう冷却塔の評価のほうに移らせていただきます。
0:44:34	こちらですね、冷却塔の評価と言いながら
0:44:40	まあ、冷却塔全部評価してるわけじゃなくて、
0:44:47	先ほど議論があった強みの今年か書いてないっていうところでまずこちら別紙として残すというお話でしたが、
0:44:57	学校に対する評価等はまた別。
0:45:01	もう一つ、
0:45:02	整理でしょうか。
0:45:09	日本原燃の斎藤でございます。ハ号の評価とまた別。別残すいうとしましては、こちらあの冷却塔の評価といってもですね、第 1 回申請の対象の設備に対する
0:45:24	あの数字を使って評価しておりますので、そういった意味でべし残すと考えております。
0:45:32	一緒です。

0:45:34	規制庁かでしたら例えばタイトルでわかるように作っていただけたとか、冷系等の評価と言うと冷却塔の先ほど言ったようなその許容温度に対して満足しているっていうものが一式をここに出てくるのかというふうに
0:45:49	ウノ委員ですが、結局はその冷却ツリーの評価だけをやっているっていうところですので、わかるように、後で整理していただければなと思いますのでよろしくお願いします。
0:46:02	日本原燃の斎藤でございます。承知いたしました。
0:46:06	規制庁からですね、55 ページ、1-2.1
0:46:13	の
0:46:14	(3)体験するところへ
0:46:19	ここの説明は結構メインでいろいろを図中に書いてもらってるんですが、
0:46:26	進むだろう。
0:46:28	内容がいまだに理解できてなくて確認なんですけど、
0:46:35	放管
0:46:39	それに近い6日においてそれぞれ中央1万までの離隔からの形態係数を求め、その考え方をちょっと教えていただきたいんですが、
0:47:01	日本原燃田中でございます。ご指摘ご質問ありましたよと携帯、どう見ても管の位置に立地が中央にまとめているっていうことについてのご質問についてなんですけれども、当冷却塔というものは地上の。
0:47:18	舟状えとすいませんちょっとペイのメディアだけ等へとなってエイタス言えなくてと、地上から高いところまでかけてと配管の方がイトウめぐってめくるような構成となつてはおるんですけれども、そちらのほうを一括でまとめた120と
0:47:37	仮に集めて集めるように模擬をステート評価をしているという意味になつてございます。
0:47:45	規制庁から阿蘇1、そういう高さ的な表現を含んでいた。
0:47:51	うちへソースまあそれも踏まえてもですね。
0:47:56	もちろん8頁第2のニーズ、
0:47:59	どっかみてもですね。
0:48:08	その下位に近い母管1、
0:48:11	ていうのはどこまで採用するものなのかとか、
0:48:18	毎日毎日テーマやっぱりちょっとよくわかってなくて、どういう意味になっちゃう。
0:48:26	日本原燃田中で5図系統火炎に近い母管位置というのは、

0:48:33	冷却塔内にへと抵抗して発している配管の配管が行きと戻りというふうに入っておりましてその知恵とか委員から使いを伸び率にまとめているという、いったことです。
0:48:49	静聴かですね。そうすると、
0:48:52	おそらくその具体的な部分が第2のニーズでマスキングがかかっているちょっと局設定もraitたいんですけど、要は
0:49:01	全部区間を
0:49:03	評価対象にしているわけではなくて、一律だけ使ってるとかそういうイメージなんです。
0:49:14	日本原電た日本原燃多田でございます系統一律ではなくて、当然の対象として
0:49:22	この位置にすべて集めて集めて増加をしてございます。
0:49:35	規制庁プラス破損前に近いっていう表現は何。
0:49:41	何のこを知っているのでしょうか。すいませんなく理解も、
0:49:55	別ですけども、日本エネルギーがですね、先ほど
0:50:02	言いました通り、こちらタナカがいました通り号館が2本あってですね、そのうちのプレート火炎から近い側に遠い側のほうも一応まとめてエイズシフトさせてその位置で
0:50:18	雨に超過しているということに記載されていると思います。以上です。政調会理解できました。ちょっと修復等を追加していただけたら助かりますどれか選定してやってるのかなと思ひまして、
0:50:35	勘違いしております。そのうちました。
0:50:39	あと続けまして、50年57ページのブースティングちょっとかかっていますのは象限のところわかりも根拠がありませんので、こういうところは追加いただければと思います。この資料に関しましては、
0:50:56	私からは以上なんです、
0:50:58	かどなたかよろしいです。
0:51:07	特にないようでしたら、別紙6の建家の評価のほうに移らせていただきます。
0:51:14	こちらのほうは、
0:51:18	の、やはり出典が拘束している部分も見られますので、そういったところは
0:51:26	根拠等をちゃんと借りていただきたいってところを、
0:51:31	後ですね許可時に整理資料でまとめていただければ外壁への影響評価のほうからですね、支持機能評価とか、スラブの超過っていうのが全部
0:51:42	なくなってお釣りなくなってしまうんですが同じ来討論自体という理解なんですがなぜなくしたんでしょうか。

0:51:56	トクナガでございますし、まず出展根拠については、こちらも適切にやっぱり義務については、追加つつというような対応をしていきたいと思えます。で、二つの支持機能の強化については、すみません、当初は別の人つった相当持つてっ制限もちよっと
0:52:13	結果的にここに入れるべきだと今私が持っているネギシで、そういうとかですね評価したスキーム廊下とか遮へい機能に対する影響評価ということについては、こちら追記してさせていただきたいと思えます。
0:52:30	以上です。規制庁からでしょ。
0:52:34	つきました。今また書いていただくということでちょっと今回ですね再提出にあたっていろいろフォーマット調整をされたと思うんですがそれで以降まとめ崩れて読みづらくなっていたりするところが結構見られましたので、少しそういったところも含め、
0:52:50	よく確認して立つ追加追記していただければと思えますのでよろしくお願ひします。
0:52:56	こちらの資料は1なんですが、建屋の評価に関しては以上なんですが、ほかのタナカでございますでしょうか。
0:53:06	もしよろしければ別紙7とか対象航空機の選定に移らせていただきます。
0:53:16	こちらも他行にヒアリング等で実施したりあと許可のときにまとめていただいたものをする、いろいろ
0:53:25	計算していただいて、ちょっと転倒はやはりちょっと抜けている部分がありますので、そこは追加していただければ。
0:53:34	思います。
0:53:37	あまりもこちらに関しましては今までもいろいろ
0:53:42	やってきているものですので、コメント等はないんですが、別紙の旺盛これから変わるってことなんですがちょっと
0:53:52	F16を
0:53:54	前提とした治療がどんどんどんどん
0:53:59	あるんですが、
0:54:02	このF16を選定するっている部分がもっと二つ説明の前半であっていいのかなと思っておりましてというのもここまで／16まで登場しないばかりに
0:54:16	いろんなどころで炉てるときに、F16を選定するっていうふうに出てはくるんですが、根拠がないまま、選定された状態でやっとなってくれみたいなの字型に今なってるので。二つ同じこともいろいろ書いてしまっているばかりに今回の
0:54:33	6月4日から9日までの修正の間でも同じことをいろいろ修正したりしてまして、あまり同じことは書かないようにして補正していただくのがいいのかなと

	<p>思いますんで、そういったところだけちょっとウノよろしく願いますというところなんですか。</p>
0:54:51	<p>きっと。</p>
0:54:55	<p>はい、日本原燃飯田です。明日航空機の設定というのはもっと前のほうで反射法がいいと思うんで、一応見直すとともに、舗数構成を見直す際に、その位置もちょっと前段のほうになるという修正したいです。</p>
0:55:12	<p>議長。</p>
0:55:14	<p>規制庁かつよろしく願います。抗原アート。</p>
0:55:19	<p>他別紙 7 に対してなければ、</p>
0:55:23	<p>社長の方に移りますがよろしいでしょうか。</p>
0:55:27	<p>ただ別紙 8 の耐火塗料の説明書のほうに移らせていただきます。ここ、いろいろ耐火塗料のライン伝統まとめていただいたところであるんですが、ちょっとせっかく耐火塗料を使うという</p>
0:55:42	<p>そうお示している割には記載が薄いなあと思っております、例えばなぜ耐火塗料を使うのかっていうところにも繋がるんですがそのメリットとかですね後使用例とか写真等を</p>
0:55:58	<p>全然ないままに</p>
0:56:01	<p>来淡々と</p>
0:56:06	<p>全閉提言というかですね、こないだのロジックで展開したようなことだけが赤くされていたりしますんでところの少しパイプ等ではどういうもんだってという説明を追加していただきたいんですね。</p>
0:56:26	<p>日本原燃の斎藤でございます。</p>
0:56:29	<p>こちら耐火塗料の説明書につきましては、</p>
0:56:33	<p>おっしゃる通りですね、内容がちょっと薄いと思っておりますので、耐火塗料を使用するメリットと、あとどういった使用実績があるのか、使用例、</p>
0:56:43	<p>とともに、写真、どういった写真、どういった</p>
0:56:48	<p>教徒示すのかといったような写真もつけています。日本原燃のエビナです。通せません。先ほどの個目を踏まえると、カタログにとかでよく施行令のとか、突っぱねして、</p>
0:57:07	<p>ポスターと写真とかってというのがついてるかと思ってるそういったようなイメージでよろしかったでしょうか。つて超過です。うん、まさしくそういう感じなんですな。今のままだとそれは、</p>
0:57:21	<p>音じゃないかなとか、そんな感じを受けますんで。</p>
0:57:26	<p>実際のものでちゃんと使う車両会議が使われていて、そういったから、今回こういうものを選定したんですみたいなことに繋がるような情報を載せていただけ</p>

	たらなと思いますか、必ずしも写真ということではないんですがあの写真が一番わかりやすいかなと思ひまして、
0:57:44	規制庁コサクですけど、今日のヒアリングの最初にお話したようなことも含めてだと思ひうんですね、産業界っていう話がありますけどそもそも国交省の認定があるということなので、
0:58:00	その認定がどういう範囲のものを想定して、どう使われているかと。
0:58:05	ということで、まさにグッドのほうではしたりとか悪いとかっていう話もあつたりするので、そういった関係も含め、包有物を考えているかっっていうことをまずしっかりと説明するっっていうことだと思ひ、
0:58:21	すんで、単純写真とかっっていうよりは、もう少し
0:58:26	技術ってスズキないようしっかりとまとめるっっていうことで対応いただいたらいいと思ひます。
0:58:33	はい。これ日本原燃NS走向のSPART基礎調査のもうすでにこれは当地区基準法にどう準備してクドウです。採用されているものです。そういったのは、
0:58:50	わかるような話でちょっと資料の方修正したいと思ひます。以上です。
0:58:58	規制庁からです等ですね 2 種類の開会と両方今回使いますって書いてあつてその組成書いてあるんですが先ほどちょっとコサクの方からもありました通り、下塗り中の理由は無理っっていう話もございまして、あとそもそも何で 2 種類使うのかっっていう
0:59:17	部分、
0:59:18	追加理由っっていうのも、
0:59:21	ありませんでしょうか。
0:59:24	ちょっとかがわせていただければと思ひうんです。
0:59:29	日本原燃だからでございます。ただいまの
0:59:33	そうそう等量なぜ 2 種類使うのかという観点でご質問に対しての御回答とあるんですけれども、一つは塗料メーカーの供給能力っっていうところの観点から、施設にあります。
0:59:50	それ以外に綱取りをメーカーの当基金による塗装可能な場合といいますと、前徹底といったほうがいいんでしょうけど適してるだろう的によりやりやすいやりにくいというような施工性のちょっと話がありまして、
1:00:07	今回イトウ 2 社の方から 2 社から供給を受けるような計画としてございました。
1:00:15	規制庁川です。そういった事情ともあると。さらによくなるんじゃないかと思ひます。先ほどのどっか下塗りもその組成とかあと機能ですね、どこまで機能を確認しなきゃいけないのかっっていう部分。

1:00:31	裏には多分取材をちゃんとしっかり守るとかあると思うんですいますんで、そう いったところも
1:00:38	そしたらいただければと思ってまとめようでしょうか。
1:00:45	江藤知材以外のは同格えと塗装層の塗料の役割というものははっきりしてお りまして、通したMELCOR別途時代へと地金のほうの防災みたいであります し取材がまた以下の生の絵とそれ以外ないとその上は中身のほうへと取材 と。
1:01:05	上塗りの何つうんすか協会の役割を持っていますおりましてご案内につい ては、それ以下の図その下にある層の保護という目的となっておりますのでそ ちらについて記載を追加したいと思います。
1:01:22	規制庁返す上もそういったことを示すときにやはり設工認上担保しなければい けない機能になるのかどうか、要はその仕様表等で展開するのかとかです ね、どこまで重要なものとして扱うのかという部分もよく言って、
1:01:41	聞きしながら
1:01:44	考えていただきたいなと思いますんで、その辺よろしく願います。
1:01:51	日本原燃高でございます。もうすでに系統ご意見の経営等を考慮して当検討 して等々記載に反映したいと思います。
1:02:02	成長カラスサトウ別途この別紙 8 に関しまして私からはないんですなほかどな たかございますでしょうか。
1:02:15	もしよろしければ別紙 9 のほうに移りたいと思います。別紙 9 のほうで 1 回か 被覆あつ
1:02:22	その設定の考え方ということで、
1:02:28	まずですね、募集 84 ページの 2 ポツの日隠蔽耐火性の試験の方法及び条件 の改定の発表で先ほど一番初めのところで議論あったことなんですが、
1:02:44	今回この
1:02:48	ところでさ生かしながら試験しなくてもよい理由っていうのがなかったんでちょ っと
1:02:56	説明いただけますでしょうか。
1:03:18	日本原燃のエビナです。それはサトウ大臣認定のほうは、直接的な、そういう ふうな何とかひずみ泉チャンネル等、
1:03:35	収缩量であったり、曲げるようっていうことから、結果を得てるん対して、我々 はそれを一度を許容温度という形で温度に関してですねその温度を超えない ことです。そこを担保しているので、
1:03:55	何ですかね

1:03:57	再開しなくて良い試験視点で栽培していないという形になります。ですので、先ほど言った大臣認定の差異化しない場合っていう考え方に近いような例を整理の仕方かなと思っております。以上です市長から3大臣認定試験も結局は損壊してない。
1:04:15	うんですんでそこを
1:04:20	承知しました。すいません日本原電のエビナです。大臣認定試験を今回営巣我々が
1:04:31	たんす断熱材の物性を作っているために使った試験大臣に意見知見を限定した考え方限定しているという話だとすれば、今回のものは差異化した状態で且つ、
1:04:49	温度を測定したものになってますんで、その温度を利用しているということになります。以上です。
1:05:05	もう一つ、
1:05:06	10日に持って当庫の耐火被覆も大変河成の試験のところで開催してるのは大臣認定試験の結果であってこちらは再掲しながら試験をしているものを使っていて、別途減産どっちでやられたものは、
1:05:24	追加しないで試験やっているっていう
1:05:28	整理になった。
1:05:29	要するに、
1:05:32	日本原燃の斎藤でございます。我々は使用しようとしている日種類の塗料につきましては、これら二つとも的大臣認定試験、
1:05:40	を取得しておりその大臣認定試験の中での荷重を加西して評価しております。ただしその我々が行っている照射試験におきましては、これは舵を与えずに、温度で判断いたしますので、荷重を加えておりません。
1:05:59	規制庁からもう何となく理解してきましたその辺ちょっと整理して書いていただければと思います。すいません。よろしくお願いします。
1:06:10	日本原燃の斎藤です。承知いたしました。
1:06:16	規制庁化ですと88ページ目の欄ですが、第3号み等、
1:06:24	一般的な粗々断熱材が使われてるんですが、今回これを選定した理由っていうのは何かあるんでしょうか。
1:06:46	日本原燃の斎藤でございます。こちら
1:06:51	特にこちらの腫瘍の断熱材を使うという理由はありません。こちらで、
1:07:01	熱物性値が一幸吉のものに置き換えて評価をするという観点から熱物性値がわかっていればどのような、断熱材でも問題ありません。
1:07:12	規制庁からです。

1:07:15	例えばダム拡張が類似性があるとかそういったことないんですね。そういったものはないんでしょうか。逆に、
1:07:25	日本原燃の斎藤でございます。こちらのそもそも別物性値取得の強化に関しましては、
1:07:33	実際の耐火塗料のその発報挙動というものを
1:07:38	再現するというものではなくてですね、
1:07:44	その温度に応じた耐火塗料のその性能を取得する上である断熱ボード
1:07:52	に着目したときにその断熱ボードの耐火塗料ではなくて、断熱どうどうあの何何ミリ分に相当するのかということを取得する。
1:08:02	という観点から行ってますので、耐火塗料としてのちょうどチームの考えておりません。
1:08:10	市長です。
1:08:12	家なんか類似のものでなければ違う計算モデルになってしまう気がするしてはいるんですが大丈夫。
1:08:22	なものなんでしょうか。
1:08:28	日本原燃のキクチでございます。単月ないさ、
1:08:33	選んで比較しに用いた例としては、まず今後の熱伝導率とかの挙動弁物性値があるものとしてあるものを探した上で、
1:08:43	それを耐火被膜との比較をして作業したというところでございます。
1:08:50	以上です。
1:08:53	政調会ですよ。熱伝導率が違うもの同士
1:08:59	綺麗そういう仕切りレート持ってるかしてしまうと多分、
1:09:05	アプリ人ですかね、ちょっと
1:09:08	もう少しちょっと考え方コサクのちょっとその辺を少し詳しく選定理由があればいいかなと思いますので、そこを追加していただければと思います。
1:09:18	日本原燃のエビナです。今のところにちょっと報告をここではですね、ここさせていただきますが、単純に
1:09:28	耐火とワーク大差塗装がする前と後でその1ミリ当たりが
1:09:39	だんだん劣化ごめんさいます。
1:09:41	聴ごめんなさい塗膜が断熱材っていうところの難民走行するかというのを多く抱えているだけなので、例えば違う意味都政違う正常の
1:09:55	断熱違う性能断熱材だとしても、この絵と惣菜1ミリ当たりのその断熱材の厚さが下がってくるだけなので、そこは特に問題にならないって重要なのは、

1:10:10	ある温度域での高温位置まで含めた物性が明確になっているということでして、今回はそのたまたまそういう高温領域までの物性が明確になっている音声を使っているということなの。
1:10:26	理由となります。以上です。
1:10:29	規制庁からです。
1:10:31	理解できたんですが、例えばそこのだと熱伝導率がええと温度けどこれはちよつと
1:10:38	これも違うものを採用して、これ違う比率になった場合、同じようにならないような気がして違和感感じたんですがそこ。
1:10:47	どうなんです。
1:10:52	その日本原燃のエピナです。
1:10:55	そう材が今回の新し、
1:10:59	例えば2ミリオンてその2mmが断熱材のすいません、ちょっと具体的な数字というのは例示で言いますが、10mmに相当するという話になった場合は、1ミリ。
1:11:14	ご相談1ミリ当たりの単列材相当あったようなごみになるわけです。ですが、その物性が違って、もうちよつと単月制度の単月性能が悪いものっていう話であれば、例えば塗装剤の1、
1:11:33	1mm相当7mmだったり8になるってということだけですので、最終的にそれを必要な塗装厚さ2割も戻す作業があるんで、途中経過する断熱材がどういった精度のものでも結果は変わらないというふうに考えてございます。以上です。
1:11:54	規制庁からです。
1:11:57	熱伝導率の温度依存性は、
1:12:03	入ってるんですけどモデルの中に表第3-2章に基づいて温度が高くなることを熱伝導率は大きくなるっていうモデルわかる。
1:12:17	日本原燃の斎藤でございます。入っております。
1:12:21	それとオオオカsて熱伝導率の温度依存性が例えば傾きがもっと急峻なものを採用していた場合を、
1:12:30	考えても、今のような評価だとする。割戻数から、
1:12:36	あまり関係ないっていうことを
1:12:40	案です。
1:13:02	静聴化です承知しましてもちよつとすつとプロセスとはちよつと

1:13:07	考えてみたいと思いますが、そういったことであればちょっと、例えばこの断熱材のところもう少し記載充実させていただければと思いますので、関連してです、増資 89 ページの上のところ辺りでも、
1:13:23	今の話前も説明聞いたときから結局モデルは変わってないということで、
1:13:29	よろしいでしょうか。なんか、
1:13:31	すべきに堆積するようなモデルを追加したわけではないっていう
1:13:37	ということですね。
1:13:40	日本原燃の斎藤でございます。モデルは変更しておりません。
1:13:45	規制庁かでしよ積み増しをですね、
1:13:56	当初 89 ページいろんなポツのの
1:14:01	心で
1:14:08	すいません。
1:14:12	前回からの差分を見ていて、もう厚さを変えるっていうような表現のところがあったような気がつかんですが、何か思い当たるとも整合する。
1:14:31	すいません結構です。ちょっとまた気づいたら、近いでもウノ確認させていただきますので、よろしく願います。
1:14:40	あとですね、
1:14:43	申し 92 ページ目の試験Ⅱを試験の写真、いろいろな設定もらってるんですね。
1:14:52	試験の加熱全部の写真っていうのを前ちょっと発注したと思うんですが、結局、
1:15:00	それが持ってなかったんですが、
1:15:03	をもって消火また追加いただきたいんですが、
1:15:08	日本原燃の斎藤でございます。治験の図につきましては、こちらありませんので追加させていただきます長官のもとに割って今回計算しなかったという意味ですよ。
1:15:23	日本原燃の斎藤でございます。写真自体はありますので今回ちょっと記載がありませんでした。村長からです。ですから、そこはあるといいかなと思いますんでよろしく願いますであつてもですね。
1:15:39	投資 95 ページ目の図があれば、妥当性確認いけばページで、
1:15:47	はい、どうぞ。
1:15:48	今回のケースの数値計算の結果を重ね代できたっていうのはどういうことでしょうか。
1:15:56	45 ページ目。
1:16:09	日本原燃の斎藤でございます。90
1:16:12	来ページの第 5-3 図から第 5-5 すべき。

1:16:18	につきましては、こちら、あくまで許容温度に対して耐火試験の結果というものが満足しているということを示すということを目的として、ここに記載しておりますので解析との比較というものは行っておりません。
1:16:38	規制庁課です。何か論理展開もそういうふうに変えられてきたので、まあそういうことなんだろうと思ったんですが、
1:16:46	ちょっとわからないのは、結局この数値計算に基づいて実験。
1:16:52	耐火試験をします。宣言してたわけ水路で実際やってみたら、大分ちょっと間違いました。
1:17:04	いろいろ論じ方を考えて、今の形におさまったってところかと思うんですね。
1:17:12	日本原燃例規の列へ等の実験については
1:17:20	なんですかね、温度設定する時のパートで下がった設定する時の時ほうか。
1:17:27	の試験とはちょっと違ってはですね、そういうのも、
1:17:36	輻射強度の設定というのが、
1:17:41	あんたね、一定とは言ってるんですが、当然本部で多少変わってくるので。そこは変動してる。
1:17:51	ですので、
1:17:53	の厚さを設定するときは、そこはインドの話はちょっと抜きにしていってしているので、かなり保守的な差になっていって、今回のものは、どう輻射強度の変動
1:18:10	があったりするんで、結果として、最初に、
1:18:16	この厚さを設定するために考えたものよりもかなり低い温度で
1:18:23	実際に収まっているというふうに我々のほうでは考察してございます。以上です。
1:18:31	規制庁からです。結局そういう実験時の事情による差異っていうのがたくさん生じてしまっているっていうことをもう概ね認識はしているんですがそういったところを考察にもうちょっと追加いただき、
1:18:48	やはりなと思ひまして、
1:18:50	そっちモデルと物理モデルの違いも結構乖離があつて今
1:18:57	本市 93 ページ目のRI考察のところ
1:19:04	鋼材からの放熱のことを考察に書いているんですが、これがその中で利息をいかにわけすねもっと根拠を持って示していただくのがいいと思います。つまり数値モデルと物理モデルの差異実験の事情による、その解析条件と実験条件の差っていうのをもう少し
1:19:23	然り命じて目 1 疾病論じていただいて別物なんですよ。

1:19:29	こういう事情で別物なんですが
1:19:31	ちゃんと試験結果は満足しておりますというようなしっかり根拠に基づく論じ方をさせていただきたいなっていうのがこの辺を
1:19:41	ウノ確認した結果の感想なんです、いかがですか。
1:19:46	日本エネルギーだけです。そういった意味では先ほど言ったような記載は足りてなかった、そこはついでに。
1:19:58	スポーツですね実験、
1:20:01	評価のやり方っていうときの考え方等アポは実験等、あとは実現象に対してこうだっていうふうなローンチ方になろうと思いますが、そういった形でイトウポンプを示して記載したいと思います。以上です。
1:20:20	はい、規制庁からですよろしくお願いします。あと始めてちょっと
1:20:26	大臣認定試験範囲等の話でもありましたがやはり口座通底プロファイルに対する
1:20:33	考察が、
1:20:35	もうあと物理現象はこういうものと理解した上でで違いを考察していただくというような考察も何段階かありますが、それらをもっと充実させていただきたいと思っております、その辺よろしくお願いします。
1:20:53	はい、日本レビューすちよました。
1:20:57	規制庁からです。投資 96 ページ目から参考で前々から
1:21:04	いろいろな評価をしている情報を追加でいただいたんですが、これまずですね、温度情報の繋がりを確認しやすくしたいと今脱法例えば投資 99 ページ目の第 1 図のように、
1:21:22	32156A種類は 4 みたいな、
1:21:27	繋がりが見えないんですね。
1:21:30	どことどの温度が同じ米米系をカワラサキはコードの評価ここから先はこの評価っていうのが非常にシンプルな組織では普通に読めばわかるんですが、この順番に
1:21:46	温度が強化されていくの計算の流れに沿ったものが評価されていくと思っております、女細切れにせずですね流れで
1:21:56	ちゃんとわかるようにしていただきたいっていうのがあります。
1:22:02	日本原燃の斎藤でございます。第 1 図につきましては、計算の流れと整合するように、図については修正いたします。
1:22:12	規制庁からですね増嵩修正するものだけではなくてその三方の構成全体が
1:22:20	3 のプロセスに沿ってないっていう点を修正いただきたいというコメントになります。

1:22:28	日本原燃の斎藤でございます失礼いたしました。構成自体はわかりやすく見直しいたします。
1:22:35	はい、規制庁ヶ月よろしくお願ひします。
1:22:38	あとですねちょっと結構記載が漏れているとか、あと記載が間違えているようなところもあるんですが、この参考の中でですね。
1:22:48	時間のパラメーターとか空間の変動パラメータみ変数プライベートなパラメータ。
1:22:55	そういったものをもうちょっとちゃんとわかるようにしていただきたいっていうのをあと物性値領域ごとの物性値が全部同じ文字列で証言されていますので、そういったところもちゃんと
1:23:10	サービスをちゃったの準備されてはいるみたいなんですけれどもそれはついてないっていうのが多いんでそういうのももう少しちゃんと書いていただきたいっていうのがあります。
1:23:22	日本原燃の斎藤でございます。計算関係のパラメータにつきましては、
1:23:27	もう少し徹底に精査して修正いたします。
1:23:32	はい。
1:23:33	委員長関連する等ですね教授通し切れちゃうかなページ目の確保を
1:23:38	ここは対流熱伝達係数出すところで一番重要なところになるかとは思んですが、ここはもう大分ざっくり書かれていて、あまりよくわからないことが、例えばですね、レイリー数がガラスのプラント現状数でかけられてるんですが、これは何に使うんです。
1:24:09	日本定義がちょっと申し訳ない。
1:24:19	規制庁からです。
1:24:20	結構いろいろな蓋のところの時間もありますので、ちょっとそういったところをもう少し精査いただきたいという意図ですのでよろしくお願ひします。ここはちゃんと記載していただければ、確認しますので、よろしくお願ひします。
1:24:36	赤い経営に日本原燃の先ほどございます。2、こちらのリースにつきましてはこれ単なる定義だと思ひますがそういったところを含めて確認させていただきます。
1:24:47	規制庁化ですよろしくお願ひします。こちらのC級、私からは以上にその他規制庁がありますでしょうか。
1:24:57	規制庁コサクですけど、
1:25:01	途中に、
1:25:03	オオオカの方から厚さを切り換えているんじゃないかって話をしてたと思ひんですけど。

1:25:10	時注 8 ページに厚さが変化するモデルとしたっていうのを書いてあるんですがそのことですか、規制庁加熱その通りです。ここを読んでモデルをちょっと変えたのかなと勘違いしましたが、
1:25:24	すいません。私の勘違いです。
1:25:27	いや勘違いっていうか、この書きぶりうがソフトです。そういうふうと思うしかないんですけど、どういう関係かをちょっと元に説明してもらえればいいかなと思ったんですけど。
1:25:41	日本原燃できないです。
1:25:44	一方ですね。
1:25:47	アメリカタバコとはなって、もともとからですね 215 までの間の断熱背を当然発報サポートの断熱設定の変わるんで、そこでへ切り換えてますっていうことを記載したつもりでした。
1:26:07	種
1:26:09	規制庁コサクですけど、その通りだと思っていて、さっきの説明がそういうふう聞こえなかったということなんだと思います。次のページのグラフを見てもですね、切り換えていくなっていうのはよくわかるんで、
1:26:25	懇 200 クドウ未満のところの物性等 200 度 10° の物性っていうところで、基本的に
1:26:33	なんですかね、言われた通り、単なるフィッティングのパラメーターのだけの
1:26:40	そこで大きく違くと逆に言うとそこで縁切りされてるっていうこと等なんで、それどちらかというとその先のですね、200 クドウよりも上のところの物性が
1:26:55	或いは
1:26:57	温度特性が
1:27:01	ちゃんと耐え適切なのかどうかっていうことになると思うんですね、これ見ても多少の傾きが中にあるという違いがあるような気もするんですけど。
1:27:13	国庫の範囲が成立するお話しした、最初にお話ししたように、ここ、
1:27:22	鋼材の温度がこれ以上上がってるっていうところと言うと、皮膜のところは全体的にもう断熱層になっていると。
1:27:31	いうことを何だとは思うんですけど。
1:27:35	一方でこれ鋼材の温度なので、被覆の
1:27:40	輻射を受ける表面温度はじゃあ幾つなんだということによって先ほどの
1:27:47	温度特性がどれだけ影響してるのかっていうのも違ってくるのかなっていう気もしたんですけど、そのあたり、実際どうなった。
1:27:56	というふうに試験結果なのか。
1:27:58	解析での

1:28:00	アウトプットなんかはわかりませんが。
1:28:05	日本原燃の斎藤でございます。まずさ押しページの 88 ページのこの断熱材の厚さが変化するものであるとしたところの意味につきましては、こちら空間の刻みというものは、
1:28:20	帰っておらず、
1:28:24	あのね、熱物性値を 210° から断熱材の送達 3 にするときに切り換えてという意味になります。
1:28:37	はい。
1:28:41	まず、すいません。以上です。
1:28:49	規制庁の古作ですけど、すみません、直接の質問と違うことを答えられちゃったんですけど。
1:28:54	質問に対する答えは何でしょうか。
1:29:03	日本原燃の斎藤でございます。大変失礼いたしました。申し訳ございません。もう一度もう一度ご質問のちょっとイトウを教えていただければなと思っております。
1:29:14	規制庁コサクですけど、今映しておられるところで、熱物性値の温度特性として鮮度までのものを、がないといけないということで対応されたと先ほどご説明あったと思うんですけど、実際の被覆の温度は何度かなんですか。
1:29:43	日本原燃の斎藤でございます。イトウ当然のことながらこういった解析におきましては大過塗装の表面温度というものを出しているからこそ鋼材の熱伝導計算されるわけで表面温度については数字はデータがございます。
1:29:58	それが何度かにつきましては、これらの加熱温度言うAとか加熱温度程度におそくなるのでしょうか。それにつきましては、すべてのちょっとすいません 4 件のエビナです。すいません今ちょっと説明が悪くて申し訳なかったんですけど、今ちょっと答弁。
1:30:17	あるんですけども今手元にはちょっと数字がないのでそういったものもわかるような資料中、
1:30:24	ここに記載させていただきたいと思えます。以上です。
1:30:27	規制庁コサクですはいよろしく願いますそれ、そういう何つうかねさっと答えられるようにするっていうのが先ほどから言ってる考察をちゃんとしてどういうものを使っているのかっていうことの理解ということになると思うので、その状況によってこの温度特性がどれだけの意味がある。
1:30:46	かということも変わってきますから、よく整理をしておいてください。
1:30:51	はい、日本原燃のエビナです政党そっちましたこういう

1:30:55	誰聞かれたときにすぐ答えるのはいいということのできるだけちゃんといいいよとかを引用地点であるとか、
1:31:04	そういったものは線形ということで成立いたしましたようです。
1:31:08	規制庁、古作です。よろしくお願いします。すいません。もう二つあってですね、いいですか規制庁から関連してなんですけどよろしいですか。どうぞ。
1:31:21	今のところでですね以前のヒアリングのときに、計算モデルをやっぱり物理とかがあるということで、この計算モデルだと
1:31:35	空間的に耐火被覆層を区切っているの、表面から受熱面から
1:31:43	物性が変わるっていうところを表現できると思っていてそういうふうに
1:31:48	当モデル化し変えれば大分その結果に近づけないかなというふうに前回ヒアリング時もちょっといろいろ議論させていただいたところではあったんですが、やっぱりそういった
1:32:04	中性というか改良難しい話なんでしょうか。
1:32:10	オオオカサガワの私の理解としてお聞きするとメッシュを切っているの、兵庫それぞれのメッシュでの日貯槽の温度評価をしているわけで、その温度そのメッシュでの温度が 215 になりましたところで、
1:32:29	団塊断熱性のかえるってすれば、順々に行くんじゃないかっていうことですよね。はい、規制庁監視の通りでそそれが大分今回の物理とするって言うてるの乖離っていうところにも結構あるんじゃないかなとずっと思っていて、
1:32:46	いかがでしょうかってところなんです。
1:32:56	日本原燃の斎藤でございます。第 3 の水。
1:33:02	につきまして、
1:33:05	こちら、
1:33:08	こちらそもそもその断熱材の空間メッシュとしてはこう変えていなくてですね。
1:33:19	110 度からこう急激に物性値のみを変更させる。
1:33:24	といったような、非常に簡易なその変更によって、
1:33:31	大体ですね、鋼材温度等、
1:33:35	構造材温度からのトレースされていると。
1:33:39	言ったようなことから、このような
1:33:44	設定で妥当であると判断しているのですが、ただもう少しその精緻にその断熱材のところのモデルっていうのを 210° であれば 210 度になった時空間飯その一つ当たり上その一つで考えたときに 110 度に
1:34:00	したときに潰せ長変化するといったようなことを考えると、210° 近辺でのもうちょっと温度変化っていうのが、もう少しうまく再現できるのかもしれませんが、それがその結果に大きく影響するということは考えておりません。

1:34:20	もっと規制庁からです。そのあとの挙動応答か
1:34:26	防災に対する断熱のされ方が
1:34:32	変わって、
1:34:33	えっブルームのかと表面で断熱された結果、
1:34:38	受熱面よりも深い側にあるところに熱が加わる。
1:34:45	時間でいうのも大分遅くなるので、大分なされると、例えば実験なんかはそういう
1:34:54	音がうたわれて正面がすごく断熱されてしまうので、内側すごい緩慢になるっていうような挙動が見えているのかなと思ったんですが、
1:35:06	イトウそういうルール、
1:35:09	あと、別紙たえをですね、これでおかしいということではないので結構です。
1:35:16	規制庁ですけど、それも先ほどの私の表面温度なんですか、などですかって聞いたことによるんですね、
1:35:27	と。
1:35:28	3-2 図で日却下食う
1:35:34	はい。
1:35:35	ん違うかつ 166 ぐらいから 210 トンまでが試験結果と評価結果乖離があるところで、
1:35:44	その辺りで温度分布が大分変わって、
1:35:47	いや表面側が反応するからってということだと思うんですけど、変わってくるということだろうなと想像していて、
1:35:56	それが
1:35:58	仮に評価において表面温度が何度ですってということがあるとそのイメージも大分
1:36:07	合ってるのかってないのかっていうことがわかるだろうということなんです。そういうのを踏まえると、このモデルでもまあいいかと思ったり、或いは実情としてどういう状態に表面がなっているのかと。
1:36:24	その時のOA伝熱の直接のアポであるのかということがわかると思いますので、
1:36:31	次に考察を提示いただくときにはそこら辺もわかるようにしていただければと。
1:36:36	いうふうに思います。
1:36:41	日本原燃の斎藤でございます。先ほど来からのコメントに対して
1:36:46	はいかんといいますかと材料として、まず第 3-2 図に表面温度につきまして、こちらの追記させていただきます。以上です。

1:36:59	規制庁コサクですよろしくお願いします。シミュレーションの評価っていうのは、実測できなかったところも見せて本当かどうかはさておき、考察の
1:37:10	情報になるので、よろしくお願いします。
1:37:13	それですね、
1:37:17	っ放したかったのは今の試験の話との関係で一番最初になったんですけど再開するかどうかといったところで、
1:37:31	認定のときには、
1:37:34	追加した状態で且つ温度もはかっているということだったんですけど。
1:37:38	その時金ば延べ一方で、こちらの試験では再考してないというときに、450° などの判断基準のときに再カー
1:37:54	知ってたらじゃあどうなるんだみたいなのところっていうのがちょっとよくわからなくてですね、350 のほうは
1:38:02	機械特性変わらないのでっていうことだと思うんですけど、400 食う云々っていうのは、多少なりとも変わるのでそこはどう考えるのかなっていうのが設置できてますでしょうか。
1:38:20	日本原電のエビナです。生かしてるのが、
1:38:28	個別の層に荷重を再開し、双方を再開しています。一方で、我々そこ 456 と言ってるのは、長期荷重相当の洞道に実施している。
1:38:45	聾値として、結果として 450° を選定しているので、400 を準備等で最下しても、結果は、この今回の
1:39:01	ごめんなさい、今回のというところの第 1 に停止系に硬化するようなレベルだと考えてございます。以上です。
1:39:11	規制庁コサクですけどレベル感的にはそんなに大きく変わらない条件になっているっていうことで何となくは理解するんですけど、歳出化したときの判断基準が連携の話だったりっていう、パラメーターなので、
1:39:29	単純に、
1:39:32	温度が大丈夫だから、
1:39:35	観点でも大丈夫ですっていうことでもなさそうなので、ちょっとお聞きしたんですね、その部分の影響は、そもそもの認定試験のところで立証できてますっていうんだったらいいんですけど、加熱条件が違うので本当かっていうところはあってもそこをちょっと精査いただき、
1:39:55	来たいと思ってます。
1:39:58	はい。日本原燃エビナです。趣旨を理解いたしましたので、そちらは
1:40:04	ちょっとどういうふうにできるだけの検討させていただきたいと思います。以上です。

1:40:10	規制庁コサクですよろしくお願いします。それではもうちょっと前の別紙になっちゃって申し訳ないんですけど、別紙 8 のほうで
1:40:20	記載が足りないっていうようなことはお話ししたんですけど、
1:40:26	ロジックペーパーだ。
1:40:29	だり、前段の資料で書いてある内容がこの部分に入っていなかったりもするので、
1:40:37	全般的に前に書いてあることはしっかりとここに落とし込んだ上で構成していただいて、そごのないようにしていただければと思いますのでよろしくお願いします。
1:40:50	日本原燃の斎藤でございます。承知いたしました。
1:41:00	規制庁ほかですと、別紙 10 から 12 がありますが 5 時半になっていますがローン減免が続けてよろしいでしょうか。
1:41:13	はい。日本原電ネーミングですねと、いつよろしくお願いします。
1:41:18	はい、規制庁からですが別紙 10 の大量熱伝達の資料、こちらを新しくつくっていただいた資料で空気の巻き込みがないかっていう資料になるんですが、まずちょっと前提としてですね
1:41:34	ほかにも非常用予備 1 とか評価を外部火災ではやっていると思っておりますね、そういったところではちゃんと航空機が持ち込まれるような評価許認可の許可のときの議論ではまだ設工認上出てきてませんが、
1:41:52	そういったところの説明方針の違いみたいなのはちゃんと整理されていますのでちょっと
1:42:16	日本原燃のエビナです少々お待ちください。
1:42:50	す。
1:42:51	人間にうちの中でございますと、冷却塔については、常に持たざるを得て動かして冷却機能維持スティック棚上げとしてそこに対して飛行機が近くに移るということで結果の評価で確認するということで事業をまずいただきます。
1:43:09	非常用、
1:43:11	発電機についてはトーク幾らという作業を伝え考えたときに、あいつ地震。
1:43:18	ちょっと私もそれに対して、外部電源の喪失+に言うとこれとPS検層組合員というところで、金融発電機に対しては、世の中にあるんで、
1:43:31	IDECの評価を実施をする。
1:43:33	けれどもこの技術的事態においてのオオオカというふうな関係でもについて評価をもうネギンないというところで許可を整理しています。です。
1:43:47	規制庁かですね。うんその違いは冷凍はあるんですが、杭

1:43:53	高温空気の影響評価ってということでは、今後の設工認上出てくると思うんですが、ちょっとそういったところではどういうふう論じていこうと考えてらっしゃいますでしょうか。
1:44:25	日本原燃整備がですねと。
1:44:29	売りませんねと先ほどのお話の通りでその空気を吸って、評価の状態がどうい状態かというお話な滋賀言わしますが、その結局にその非常用Dが、
1:44:45	またアピール状態でも航空機火災によって影響を受けるということで、いけないので、そこの評価はされることになろうかと思いましたが、評価の視点が違うだけで結果としてはちょっと担当。
1:45:00	今、暴走するしないという結果を示すことになろうかと思えます。以上です。
1:45:07	規制庁かですね、例えば実用炉なんかでは、のそういった
1:45:14	留まっているところだけじゃなくて動いているときなんかもそういう空気を取り込むものに関しては外部から懸空気に耐えられるかみたいなことを評価していったと記憶しているんですが、そういったところとの説明方針は、
1:45:33	何か差別化されてらっしゃいますでしょうか。
1:45:39	違う
1:45:59	以後ゲル利益がある。すいません。ちょっとあのその差別化という点では
1:46:05	あまり今ないのでそこはちょっと考えさせていただきたいと思えます。
1:46:12	規制庁コサクですけど、そもそも航空機墜落火災があったときって冷却塔に機能を期待するんでしたっけ。
1:46:23	やっぱりその間の温度上昇はわずかですとか、っていうような話もあったような気がするんですけど。
1:46:32	何か質問、
1:46:34	そういう。
1:46:37	kAで話とか、
1:46:44	その影響操作との関係で何を評価しなきゃいけないかっていう等にもなると思うんですけど、許可断面でもそういう話したような気がするんですけど。
1:47:03	日本原燃田中でございますけれどもまずえと冷却塔へと航空機落下に対しての取出後の機能の期待としては、僕ケアコメント冷却塔機能するということを期待してございます。
1:47:17	溶かすのコサクですけど、当然昇格は期待するんですけど、消火活動中もう冷却塔を動かしたままと。
1:47:31	ということで動かさなきゃいけないみたいな話をしてたんですけど結局何ですか。
1:47:41	少々お待ちください。

1:48:06	タジリさんなんか航空あります。
1:48:10	規制庁田尻です。ためのおっしゃられているのは酷や火災が落ちこちてタムラばそれまでに多良木時間とかのレベルとかで、そういう管理に関して言うと、冷却塔のパート固まってもその間だったらそんなことじゃないんじゃないかって話だと思うんですけど。
1:48:26	D断面で言うと、普通に動いても大丈夫動いても冷却水の温度上昇はどこっていう整理をしていたような気がするんでちょっと今まで自分も定かじゃないです。
1:48:40	続いて超過です。私もその音波探知理科EDS提案の止めるっていったことをよく断面でなんか読んだ覚えがないということだと私はその審査にもあったようにしてませんでしたので、
1:48:54	私もちょっとしっかりしたことは言えませんが、そうだった時奥があります。
1:49:05	規制庁、古作ですけど、今確認中かもしれませんが、そういう前提の件をちゃんと整理をしてその施設要件の中で、どういう評価が必要かということをごこまでの機能を
1:49:21	維持ということで説明する必要があるかということをもとめると同様な評価が必要なものは先行例も踏まえてってということになりますし、求めるものが違ければそれにそうした対応になるし、ということなので、その辺り整理をして対応いただくということで、
1:49:40	もうます以上です。
1:49:43	すみません、日本原燃するちょっと今、なかなか確認時間を要していますのでコサクさんがおっしゃったような趣旨を踏まえて、許可断面の話も前提条件として考慮してどうもそこか。
1:50:01	ちゃんと差別化するならするというふうなところで記載するようにしたいと思います。以上です。
1:50:10	地質的強化ですと、この資料に関しましていろいろありましてですね、まず、新しい評価ですので、
1:50:20	102 ページ投資額 2 ページ目。
1:50:24	これ、今回は
1:50:26	シミュレーションソフトを使ったということで、このシミュレーションソフトに関する説明とまずないので、その辺はつけていただきたいと思います。
1:50:40	日本原燃の斎藤でございます。FDSの説明につきましては記載を充実いたします。
1:50:47	規制庁化ですよろしくお願ひします。あと 133 ページ目の第 2 の 1 相のところも、

1:50:55	例えば今回先端を使っている。
1:50:58	と定年延長挙動が近いというふうになってんですが、
1:51:04	これ燃焼教頭で具体的な案ベースというところなんですわ。
1:51:18	日本原燃の斎藤でございます。
1:51:21	こちらの貢献ターンの名称挙動の近いとされるデータをデータといいますか、 根拠は整理して、
1:51:30	回答いたします。
1:51:33	成長かですね、何を言う坑道で代替バスをリンとか入ってるような気がするんですが、そういう事情があったということで理解しています。後ですね普通とかいう 35 を今回、
1:51:47	燃焼面積とか積載量を選別してるんですがこれも何って何。
1:51:57	シミズ未満原燃のサカモリでございますこちらの評価でございますけれども、 102 ページの冒頭に少し書かせていただいておりますが実現象としてとらえたときにですね、開園っていうのは燃焼によって発生する高温ガス土壌潮流となるとなるとともにですね。
1:52:16	kineちゅうの外側から空気を動流れが生じるとそういった流れを経口ですね 監視したいと思ってこの評価をしてございまして、この評価の調査な傾向がわかる資料として普通で行った解析があったので、そちらのほう今回使用することといたしました。以上でございます。
1:52:38	規制庁からです。
1:52:43	燃焼面積がどっちのほうが保守的なのかみたいな話は今のおわかりでしょうか。積載量とも関係するんですが、例えば、これがF16 だったらこういう挙動をもっと
1:53:00	あるとかですね、ちょっと中途半端な値を選定されてますので、どっちに向くのかなっていうところが、
1:53:11	ちょっとちっちゃいなと思います。いかがでしょうか。
1:53:14	日本原燃トクナガでございます。実施日時 71 ページにもやはりする沖に対する延焼面積をすと記載しております。
1:53:24	マイク 16 や通所警備室に対して通訳休憩で燃焼時間に関してはその燃料量カミデaウノているというところになります。以上です。
1:53:39	規制庁、それは理解した上でですね、この面積と積載量が今回の評価に対して、
1:53:50	どう、どういうふうに思うのかとかと
1:53:54	積載量も、
1:53:56	燃焼面積もちょうど中間のものを今回使ってますので、

1:54:02	燃焼面積が黄色ければ、
1:54:06	この動きは緩慢になるとか、
1:54:09	積載量が多ければどうだとかそういったところは何かもしおわかりでしたら教えていただきたいというイトウだったんですが、日本原燃の減額です。例えばですが、
1:54:23	ですね 105 ページのところですかいによる上昇流を 10 メーター/s としていうふうなことを記載しているんですが、これ実際はマックス 30 メーター/s の結果を
1:54:39	かなりコソ的に 10 メーターというかなりパンパンなものにそもそもここでカットしているので、その燃焼面積の変動によって映像円変わってもですね、そのカットした部分で等に吸収されるようなものだというふうにございます。以上です。
1:55:04	規制庁から質問わかりました。そんなに面積に対する依存性は出てこないだろうというところですね。はい、承知しました。普通とか予算 15 円選択した理由ってというのは今仰ってましたが、
1:55:21	あと地域いただきたいと思います。あと、
1:55:28	時間のことを先ほどから 1200 秒で消化してますっていうことも表現してるんですが、この戦略秒っていうのもやっぱりちょっと中途半端になった場合の普通とか 38 パパよう対応してましてこれ時間ってどういうふうに関係していくのかっていうのを教えていただけますでしょうか。
1:55:52	日本原燃のエビナです。その評価の中では時間というのは、時間の概念はあまり関係しないです。はい、あまりという関係ないです。以上です。
1:56:08	規制庁どっか別の 104 ページの結果なんだろうと
1:56:14	うん。どこだかの時間のものを作業しているわけですけども、それってどういう時一般のものが採用されているのかなっていうところなんですね。
1:56:38	日本原燃の斎藤でございます。こちら時間につきましては海外の安定したあの状態の時間のところとなっております。
1:56:51	規制庁川です。そういうことだと思いますんで 01200 秒っていうのがより長いものがある中で一番短いものを取ってきていて、これは別に 1200 秒前に至る前だったら別に問題ないかなと思う。
1:57:08	の質問だったんですな、そういった観点では何かありますでしょうか。
1:57:14	すいません日本原電がですね、ちょっと今、実態自身の放送がかかってたんで、ちょっとお待ちいただけますでしょうか。

1:57:34	申し訳ございません。そうあったんですがちょっと途中早々とかぶってしまつて聞き取れなかった部分あるので、申し訳ございません。もう一度お願いいたします。1 ページオオオカです。ですね、この時間。
1:57:48	でしたところという、
1:57:50	所をとっているというため劣っているということでしたが、この
1:57:55	それが 1200 秒後とか 1400 議論をとかじゃなくてですねもっと前の段階。
1:58:02	いう、そういうことなんでしょうかという質問でした。
1:58:07	日本原燃のエビナです。ここで記載してある連系延焼時間言ってるのは燃焼継続時間で当然その安定スター火災安定した状態というのは、その前になりますんで、おっしゃる通りの認識で。
1:58:24	おっしゃる通りの認識となっております。以上です。
1:58:28	規制庁かですね、そしたらこの 1200 秒っていう設定も特に何かあるわけではないということであつて一つしました。
1:58:39	規制庁コサクですけど念のためですけど、燃焼速度っていうのを特定をしていて、今回開放系での燃焼を想定してるっていうことなので、基本、すぐに定常状態になって、
1:58:56	温度平滑なくなつた。
1:58:59	揺らぎがあるんでしょうけど、基本的にはそんなに変わらなくなるっていう理解でいいですか。
1:59:06	日本原燃のエビナです。ちょっとすいません、確認は必要ですけどもそういった今コサクさんがおっしゃった通り、イトウ進む安定状態になるようなものと考えてございます。以上です。
1:59:20	規制庁コサクです。わかりました。もう確認の上それが明確になるようにしていただけることです。
1:59:28	規制庁化ですとゆ着 4 ページ目に検討の結果が掲載されていましてこれを強化されていると思うんですが、この文献の結果がほとんど何の情報もありませんでしたので、こういったおんなじいろんなあの試験なのかっていうところをもう少し拡充していただきたいんですが、
1:59:49	ホシノ
1:59:52	日本原燃の斎藤でございます。この文献の情報につきましては、
1:59:58	充実化させていて、
2:00:00	いきます。
2:00:03	規制庁加熱よろしくお願ひ。
2:00:05	しますと、別紙 10 に対しましては、私からは以上なんですね他の規制庁側からございましたらお願ひします。

2:00:20	いないようでしたら別紙 11、施工管理のほうに移らせていただきます。今回施工管理、追加いただいたということで 109 ページ目母子 600 ページ目の第 1-1 表、いろいろなところからすると掲載されていますが、
2:00:39	まずちょっと
2:00:41	本題に入る前にという瑕疵安重設備っていう表現がありますんでそこをちょっと改めていただきたいと思います。これは前回のコメントと同様になりますんでよろしくをお願いします。
2:01:01	日本原燃田中でございます。施行令等通しの 109 ページの絵と施工ちゅうの取材の塗膜厚さの非安重設備の記載ということを確認しますと、こちらについてと記載の見直しをいたします。
2:01:16	はい、規制庁からです。他にも使おうとしたときにそういうふうにならないようによろしくをお願いします。それであと 100 予備はい。
2:01:24	9 ページの取材の
2:01:27	プラス 1 ミリってところ今の学校民法の欄ですねスケジュールの中なんですけど、+1mm括弧平均値というふうに管理していくという
2:01:40	もっと
2:01:42	今回こちられていますが、
2:01:46	例えばですね、液だれ等はあるようなものなんでしょうか。
2:01:54	つまりこの+1mmよりもより厚く塗ってしまうと、その液だれ等をして
2:02:02	タムラができたりとかそういったことって、この耐火被覆であるものなんでしょうか。
2:02:08	と日本原燃田中でございます。当貸かつ耐火被覆のイトウ取材の部分につきましてはものとしてはかなり粘性が高いもので動的誰等は起きにくいものという認識でございます。別途資料に記載しているとプラス 1 名のページなんですけれどもこちらについては、案。
2:02:28	当設備の対価のえと性能担保するための数字ではないので、もうちょっとこの記載については改めて撤廃したいと考えてございます。
2:02:41	静聴でしたら、どうぞ。
2:02:44	どういうふうにされる予定でしょうか。
2:02:47	日本原燃田中でございます。抵当へと管理する項目として最低膜厚がマイナス公差 0 というところを前提であるということを管理し管理するということを考えてございます。
2:03:03	規制庁からです。ですからのプラス側、プレハブによらなくていいということになると思うんですが、
2:03:14	あまり熱くなってしまうても全然問題ないという

2:03:17	整理がされているという理解でよろしいです。
2:03:21	厚真厚くなり過ぎての影響ということに関しては使用した塗料の行で耐震上影響がないということも検討追跡はできますので問題ないという管理ができます。
2:03:35	規制庁かね措置ましたじゃあ、ちょっとその旨直されるということでまた確認し、
2:03:42	出させていただきます。ちゃんと理由を書きいただければと思いますのでよろしくをお願いします。
2:03:47	あと分限にタナカでございますけど修正については理由を添えてということで了解いたしました。
2:03:55	規制庁、川です。あと投資 110 ページ目のところで今後測定をするときに、殿
2:04:04	電磁誘導式の膜厚計ですか。
2:04:07	その使用するという事なんですが、これは原子力仕様の測定精度とか構成等が可能なものになっているものを準備されているのでしょうか。
2:04:20	ええと、日本原燃田中でございます。膜厚計につきましては、構成につきまして等は／標準器までのTRACEさを準備して管理をしてございますんでえと思えますもんにありましたので、原子力しようという意図がちょっと幾つかねなかったと。
2:04:40	よろしくをお願いします。規制庁からです。いろいろ測定機器の精度低いいろんなところで決まっています要ると思うんですが、そういったら、何か測定機器を
2:04:56	基準規格に適用したのものになってますでしょうかというのはいないですね。
2:05:03	そう。
2:05:14	すいません日本原電の益がですね、
2:05:18	トレーサビリティがとれていて、その必要な厚さ以上であるということが測定計器類のものという意味ではそういった仕様のものになっておりますので、
2:05:31	こういう答えではちょっとおかしいでしょうか。以上です。
2:05:37	規制庁コサクですけど。
2:05:40	そういった取り組み状況をちゃんと書いてください。結局はこれ強まり事業者検査としてやったときに、専門検査部門が確認に入って検査として成り立っていないって言われては困るわけですから、
2:05:55	そういったところがちゃんと設工認で説明されていて、認識合わさっていると合っているという状況にするために必要な情報だと思いますのでよろしくお願いします。
2:06:08	日本原燃田中でございますので景気集を明らかにして記載のほうへと追加したいと思います。

2:06:19	規制庁、川ですよろしくお願ひします等ですね、人投資 110 ページ目の(3)のところへ例えば 8 立地エコーmもとに測定していく箇所の測定点が 5 点とするとか、これは何か。
2:06:36	時規格に基づくものなんでしょうか。
2:06:40	日本原燃田中でございます。この定例ごとに系統を 5 点というのは、当耐火塗装のGuideというものがございました。えと通し番号の 110 ページの絵と頭のところに豊島区厚さの測定について、
2:06:58	構造材料の対価性ガイドブックを準拠しているという記載があるんですけども、こちらの管理の方法につきましても耐火性のガイドブックこちらのほうへと準拠いたしましてええと設定しているものでございます。
2:07:15	規制庁かでこの中に耐火被膜がすでに解雇されているっていうことですよ。
2:07:24	日本原燃田中でございます。その通りでございます。
2:07:28	成長加熱承知しました上で今回入りの
2:07:34	支持学校に施工地点ような状態、ちい㎡ってすごく広いなと思ったんですが、
2:07:44	実際のところをどのぐらいの範囲を
2:07:49	8 平方メートルってどのぐらいになるかとか何か水産とかされました。
2:08:00	日本原燃田中でございます。例えば一つの部材が大体 4 メーターとかそれぐらいあるんで一つの部材を 1 個取ればま 8 年 8 平米といったぐらいになるっていうふうな
2:08:12	聞こえます。はい。
2:08:17	規制庁からです。そうならいいの感覚で考えておけばいいということですので、1ヶ所当たり測定点 5 点ってところがちょっと
2:08:26	イメージが湧かなかったのですが、これベッドという範囲で 5. のピックアップするんでしょうか。
2:08:43	少々お待ちください。
2:08:51	円筒日本原燃田中でございます。当ガイドブック自体のほうにはその測定点はどこだっている
2:08:58	ような記載があつてと記載がないので我々としては、測定点が固まらないようにできる限りと分散させるような形で配置をしてと測定をしております。
2:09:14	規制庁仮設人たちました。
2:09:18	また、そういったところをちょっと
2:09:21	荷重していただけたらなと思いますんで記載のほうよろしくお願ひします。
2:09:27	規制庁崩れたけど、分散させるってというのはそうだと思いつつですね。
2:09:33	はい。

2:09:34	薄くなりそうなところは確実に広くっていう発想もあるような気がするんですけど。
2:09:42	そもそも塗装の仕方ってどういうものなんですか。
2:09:54	三菱重工松本です。
2:09:56	塗装の仕方は現前に集計が合っってスプレーで直交する場合と、あとテレビでローがけする場合があります。
2:10:07	以上です。
2:10:10	規制庁の古作です。その方法によって薄くなりがちな場所とかっていうのもあるような気がするんですけど、そこら辺は、
2:10:19	何か。
2:10:21	検査箇所として意識するようなもんですか。
2:10:25	傾向として、三菱重工松本です。
2:10:31	傾向としては、例えば、
2:10:36	(ウ)パイプを載るような場合だと、あと行ったところ辺りというのがもうすでになりがちになりますけれども、そういうところも含めて審査対象になってきた。
2:10:48	以上です。
2:10:50	規制庁コサクです。ありがとうございます。そういう配慮事項なんかもちゃんと書いた細かくじゃなくていいんですけど、まず傾向的にそういうのを考えながらやりますよということは明確にしといていただけたらなと思います。
2:11:06	減肉評価のときにもそういうところを考えながらアボさん。
2:11:11	ボーリングの場所の妥当性の説明されてますので、よろしくをお願いします。
2:11:17	4円でタナカでございます。承知いたしました。
2:11:26	規制庁か手数その他別紙11に関して何かございます。
2:11:31	別紙12の話ともちよつと関連するところではあるんですが、不適合管理はどうなっておりますでしょうか。
2:11:45	日本原燃田中でございますので当高いものを一つ適合管理というのは、管理値を満たさなかった場合であるという理解でよろしかったでしょうか。規制庁からです。今Cとかいろいろ書いてイタリアの次の資料のほうで聞けばいい。聞いてもよかったんですな。
2:12:03	反町ってというのが非常に多く書いてあるんですが、例えばスズキとっていて、それをミスも捨て上まで塗ってしまった後に不適合が起こってましたテスト発覚した時下塗りじゃなくて、取材を、
2:12:23	再び塗るという単位施工再塗装が必要になったりする場合もあるんじゃないかなど。

2:12:30	思います。そういったときには塗りましたじゃなくて、1回剥がしてまた乗るみたいなことになるんじゃないかなと思うんですが、そういったところなんか整理されていますでしょうか。
2:12:41	日本原燃田中でございます。我々としてはとか絵と測定点を決めて管理をしているので、そういうことはないとはちょっと考えてございますが、仮にもしそういうことがあった場合ですと、冷凍すべて塗り終わった後に知財っていうのはちょっと戻せませんし、
2:12:58	そのあとへと幾ら削っても、その絵と確かな数字というのはわからなくなっておりますので、その部分についてはすべての塗装差異でとしてアメリカ忘れてやり直すことと考えております。
2:13:12	スズキオオオカです。すべてというのがその部材に対してすべて例、やはり塗装。
2:13:20	売らなきゃいけないっていうことなんですかね。
2:13:25	日本原燃田中でございます。今のすべてというの測定の範囲という趣旨でございました。
2:13:34	成長加熱承知しました。そういったところもちょうとまとめといていただければ。
2:13:40	その売り場Cということだけじゃなくてやっぱりサイトっていうところがあるのかなと思ひまして、そういったところから詰めしていただければと思ひます。
2:13:50	規制庁コサクです。今の話で言うと測定した場所っていうことなんですけど、それはあれですか。111ページに書いてある8平米っていうのが一つの単位ですか。
2:14:04	日本原燃田中でございます。
2:14:07	少々お待ちください。
2:14:36	日本原燃エビナです。今のお話はですね
2:14:41	富津適合というかそういった不具合が発生した孟母経緯にもよるかと思うんですけど、最大の単位では測定単位ごとで、先ほど言った
2:14:56	話になってまして、原因がほんとに限定できるんであればその部分だけ効率あってですね、恒設再塗装するというふうなこともあり得るかと考えてございます。以上です。
2:15:11	規制庁コサクですけど、111ページの記載の限りにおいては、これによりましてっていう表現なので、先ほど
2:15:22	オオオカがいたように、その言葉でいいのかわかっていうことも含めなんですけど、もう少し明確にいただかないと
2:15:34	施行が適切なのかわかっていうことをまた検査断面で問題になりそうなので、整理をしてください。

2:15:43	これ括弧を 8 平米で書いてあるんですけど、必ずしも 8 平米で管理しなきゃいけないということでもないと思うので、
2:15:52	検査断面で、どういう単位でやるのかそれによって債施工なりをどういうふうにするのかっていうその考え方を整理していただけたらというか、と思っています。
2:16:09	日本原燃田中です。承知いたしました。
2:16:13	規制庁コストベースでもう 1 点ちょっと確認なんですけど、
2:16:19	こうしたノリの時等取材塗りの時で測定をするということなんですけど、基本あれですかね下のりの時の数字等取材塗りの時の数字の差分で取材なりの厚さを
2:16:33	安定するっていうやり方と思えばいいですか。
2:16:37	日本原燃田中でございます。高湿ページの 109 ページの後取材のところの管理方法のところに、
2:16:44	サガワしてございますけれども、踏査乗りのバス厚さと取材を終了後の厚さの土佐分から東西の厚さを管理するということでございます。規制庁コサクです。わかりました。
2:17:01	規制庁オオオカです。ついてといったようなんですがその裁決をするときに今塗ってあるもの剥がすときって、どういう場所になるんでしょうか。
2:17:20	三菱重工松本です。3 のペーパーで継続したり、もしくはRayleighなもので切り取ったり経路を行います。
2:17:30	以上です。
2:17:33	規制庁返せばもうそれはそれと今回採用している 2 社も含めてそういったその科学的なものではなくて、物理的に話すということね。
2:17:47	。
2:17:50	日本原燃のエビナです。当と 2 種類ありますが、仕方は、基本的には変わら分医薬品で溶かすとかそういったものではないということです。以上です。
2:18:05	規制庁から一つしますと、できたらあれですねあまり
2:18:12	したくないという感じではあるんです。
2:18:18	日本原燃と分かれば、そうですねできれば避けたいところでございます。
2:18:24	規制庁課で生じたサトウ別紙 11 のほうでもし規制庁側から何か。
2:18:30	ありましたら、
2:18:32	規制庁コサクです細かい話で申し訳ないんですけど、今の再塗装する場合だとするところと少ないところで、
2:18:43	少し

2:18:45	重ねなきゃいけないとなると、多少暑くなっちゃう場所にあると思うんですけど。
2:18:51	それは先ほどのプラス側の管理値を米価
2:18:56	設定してないってことでカバーできるってことなんですかね。
2:19:01	日本原燃田中でございます。ええと御理解の通りでございます。
2:19:07	規制庁、古作ですわかりました。
2:19:10	以上です。
2:19:12	それ超過ですそれでも 72 維持管理、こう移らせていただきます。維持管理のことに関しましても、例えばですね乗りますし、一方の表現が幾つか
2:19:27	だと思うんですが取材かなりからなる場合っていう
2:19:32	もっともうあるかと思えますんで、そういった場合、
2:19:37	上回り材の
2:19:39	WANO異材の積み増しだけじゃなくて、その中のほうから塗る場合っていう
2:19:45	その有無っていつのとかあとその手順っていつのをちょっと整理していただきたいなと思ったんですが、いかがでした。
2:19:56	日本原燃田中でございます。今のでと御指摘についてはええと参照の止ま程度に応じてそのものが変わるということで一応一般的な記載とはなってございますけど、当初の一応 117 にですね、ステップとして、
2:20:15	止ま手順のほうは記載してございますのでこちらのほうへとより具体化。
2:20:21	拾ってとするという絵と対応方針でよろしいでしょうか。
2:20:27	成長管理スパンを上塗り材。
2:20:31	だけが対象ではなくて、名かなりとか旬なかなか上とか取材が持ち劣化しているってことが確認された。
2:20:43	場合、
2:20:44	もう
2:20:47	該当するんでしょこれ。
2:20:50	日本原燃田中でございます。ステップといたしましてええと損傷の程度を確認して補修が必要か必要でないかでそれを保証までの登用状範囲といたしましてその下の絵と損傷部の状況というところでこれがやっとなんか損傷箇所がどこまでいってるかに応じて進め深さが/h
2:21:08	来ます取材までと傷がおよんでいるといった場合は、取材ところまで状況をして施行するという手順になってございます。以上です。
2:21:20	スズキオオオカで承知しました。ちょっとその辺
2:21:24	もう少し取材中塗り等もこういう手順でっていう、今おっしゃったようなことをもう少し言語活動をいただければと。

2:21:35	思います。日本原燃インターフェース承知いたしました。
2:21:39	規制庁コサクですかね。その明確にさせていただくところでわかると思うんですけど、上塗りのレッカーを回復させるっていう作業でとどめたいと思われるような気がするんですけど。
2:21:53	その場合に、取材、その作業において手術取材Eのところの影響してないと。
2:22:01	厚さが確保されているとかっていうのはどういう管理になるのでしょうか。
2:22:09	日本原燃ただかでございます。取材出戸取材までおよんでいないという判定につきましては塗装の装飾がえと取材等、いでへと違っておるのでそのLOB系と判定しようというふうに考えてございました。
2:22:31	規制庁憶測ですけど、なんていうんですかね。李を除去したときに、中塗りの色が残っていて取材が出てないということで取材は位置してるっていうことですか。
2:22:47	日本原燃田中でございますねと出資趣旨としてはその通りでございます。
2:22:53	規制庁コサクです。わかりました。そのあたりも明確にしといてください。
2:22:59	日本原燃田中で承知いたしました。
2:23:04	規制庁返す続けいまして、110°C115 ページ目のところ、
2:23:11	それで、中野理財上塗り材の劣化から開会テクノ劣化でここをちょっと論じ方で紫外線と温度差が項目。
2:23:23	に入っていた紫外線と温度差がちょっと3ポツのほう、あとなくなっているんで。
2:23:29	温度差の方はちょっと説明はあるんですが、紫外線とか温度差が何か被覆の劣化に関係しないっていう部分の弁閉がですね、読み取れなかったもので、例えば紫外線だと。
2:23:44	本当にないものなんでしょうか。
2:24:00	日本原燃田中でございます。取材に対するもの紫外線温度差につきましても、ケット上塗りのかなりと同様と劣化、劣化モードとしては劣化を与えるものとなりますので、
2:24:16	記載のほうにそこを追加したいと思います。
2:24:23	超過ですね何らかの理由があったとしてるわけじゃないということで、追加されるのであれば結構です。承知しました。
2:24:30	あととい別紙 12 時管理関係何かございますでしょうか。
2:24:42	来ないようにしたら、ミニバイブ規制庁コサクですけど、劣化モードは一通り取材も入れるっていう
2:24:50	口頭でそのときに、116 ページで募集の時期震度として 8 から 10 年というふうに言われているんですけど、これはもう

2:25:07	今後見ながらということなのかもしれませんが、全体的に施工し直すっていうことになるんですか。
2:25:15	日本原電ざっくりですか。
2:25:18	日本原燃田中でございますけれども、こちらについては上塗りの再施行時期というふうに
2:25:24	と考えてございます。塗料取り込め過剰の耐久の目安というのがイトウ、この程度だということで、今後えと、この6ヶ所の再処理工場で施工して関係によってへと大きく左右されると考えてますんで、状況見ながら適切に設定していきたいと考えております。
2:25:43	規制庁コサクです。わかりました。そうするとですね、取材のほうは、
2:25:50	先ほど言ったその後、個々の劣化要因に対してまだ機能を維持しているんだという評価が必要になる。
2:25:58	ウノで
2:26:00	それを今回とか維持管理の中での話かはありますけどもでもくり維持管理の方針として書かれているので、
2:26:09	何らかその部分も評価をしておいていただいたほうがいいかなと思います。よろしくをお願いします。
2:26:15	日本原燃田中でございます。ただ今の御指摘えと再施工中の生徒取材の影響ということがないことをちゃんと確認するようというふうに理解いたしました。それにつきまして等の内容をえと追加いたします。
2:26:34	規制庁区画ですとちょっとずれているかもしれないけどもう一度言いますけど、取材のほうは更新より先でもそのまま残すということであれば、より20年30年という
2:26:49	ところのところまで性能が維持されているという判断をしなきゃいけないので、その断面で、先ほどの五つの劣化要因に対しても影響してないということを使うということで、
2:27:03	基本はその上塗りで環境遮断されてますよということなんだと思うんですけど、その点を明確にしておいてください。
2:27:12	日本原燃立たれてますけれども失礼しました。主旨理解しました耐変化する。
2:27:22	規制庁かれるよろしいでしょうか。今、今まで外貨04のほう、すべて議論を、コメントはありましたが、こちらの方から審査会合で担当する部分等もかなり含まれてまして、
2:27:40	割愛を軽いというか、今後エビデンスをしっかりそろえていって、設工認のヒアリングの場でまたそれを確認していただくっていうようなところもコメントもあり

	ましてまずは審査会合に向けてしっかり対応していただければと思いますので、その辺
2:27:57	モリノの買い物を判断した上で、的に対応よろしく願いいたします。
2:28:04	はい。日本原燃のエリアです。どう5す。いろいろご指摘あった中でも多分一番一番というか、これが資料作成の上で重要になってくると思っておりますが会合資料の内容を優先して
2:28:20	間に合わないところは間に合っていない上を期待して軽重つけてるテープを対応したいと思います。以上です。
2:28:30	成長過程ですよろしく願いします。あと時間もかなり押しても少ないから海外ってような方、今日の話題に上がってますが、これも1回やったものを
2:28:43	医師やから簡単にコメントを幾つか確認させていただきたいんですが、このまま引き続きでよろしいでしょうか。
2:28:54	日本原燃のエビナです。そうよろしく願いいたします。
2:28:59	規制庁必ずまず開会荷重4、こちらがですね補足説明資料として別紙C、
2:29:09	また添付のほうを説明するものという位置付けになってはいるんですがその1概要で書いたような
2:29:19	添付書類の説明に当たっているのかみたいなどもちょっと精査いただきたいと思いますので、あとここに書いて書かれている弁分がもしかしたらす。
2:29:32	ウノ値を引用しているから、ここに書いてるんじゃないかなってちょっと思ったんですがそういう。
2:29:39	イトウで書いていますか。
2:29:51	日本原燃の斎藤でございます。ご指摘の通りです。
2:29:57	規制庁からもうそういうものじゃなくてですねやっぱり添付資料のこの部分を補足するために今回補足説明資料をつけてますっていうことになると思うのでそもそもちょっと書いてますが、評価の基本方針で、
2:30:12	この
2:30:15	この補足説明資料の説明しようとしている、その包絡されるっていうことで、ここにあるする値ういそいったものを説明しているものだと考えておりますので、その辺ちゃんと
2:30:26	住み分けをしっかりといただければと思います。
2:30:31	日本原燃の斎藤でございます趣旨は理解いたしました。
2:30:35	そのように対応いたし対応いたします。
2:30:39	規制庁かねず上盤続きまして4ページ目等でやって添付資料添付書類を引っ張ってきて、そこに基づいて、今回か再現を設定しているんですが、ちょっとそれ学校、

2:30:55	添付書類、全部が
2:30:57	該当していて、どこに書いてあるかっていうのがまずわかんないっていうのとその上位文書を引用して参りますので、
2:31:06	そういう展開をするっていうのを何かやはり、違うなと思っていますので、分社このボルトでしっかり数値と
2:31:16	根拠等いろいろちゃんと説明してもらった上で、もし引用さ引用元がずっと困るようであれば、そういうこともあるのかなと思いますが、まずは基本的には補足説明資料としてしっかり完結する上位文書日数に完結するように、
2:31:36	してもらいたいんですが、よろしいでしょうか。
2:31:40	日本原燃の斎藤でございます。補足説明資料は補足説明資料の中で完結させるように記載補正改めます。
2:31:48	規制庁返すよろしくお願ひします。それで、今回ちょっと気になったのはMOX数のポイラ用燃料受け入れ貯蔵所だけがオオオカイトウになったんですが、ここへ他のものが落とされる理由っていうのは他の補足説明資料でもちょっと
2:32:06	異論はありましたが今書いていますでしょうか。
2:32:13	病院にトクナガでございます。もうスズキについてはGタンク火災として現レポート程度について評価をするものとしては終えられる原料系列の延焼大きく時計選べるというところでSPART移ら火災の重畳というところが、厳しい策になったというところです。
2:32:33	THAIを対象に、今回確認を実施したというところでございます。以上です。
2:32:40	規制庁化ですとそ、それがちゃんと添付書類に書いていますでしょうかというところなんです。
2:33:04	すいません、右臨港検知率としてどう国を確立したというときに、現在、日た上で取り組みを適切に記載させていただきたいと思います。
2:33:17	規制庁化ですとかもちょっと確認いただいたと思いますのでよろしくお願ひします。あとですね、図面、今回は、
2:33:27	もし5ページ目6ページ目につ付けていただいているんですがこれ結局私ちよつとなる危険物貯蔵施設がどこなのかわからない。
2:33:38	増えるんですが、これ他の説明資料だとかからバスたり何かいろいろ
2:33:45	6分されてるんですが、これ。
2:33:47	昔白黒でよくわかんなかったんですが、何かもうちよつと明瞭に位置していただければと思いますのでよろしくお願ひします。
2:34:03	Ss
2:34:05	日本原燃の斎藤でございますが、ちよつとわかりにくい図になっておりますので、明確にわかるように改めます。

2:34:16	設置効果ですサトウが多くにもうちゃんと整理されていたものですので、このコメントはないんですが、規制庁側から何かコメントありますでしょうか。
2:34:37	規制庁化です特にないようでしたらこちらの資料はトップレベル終わりにしてまた
2:34:44	伝えと改めて徹底していただければと思います。
2:34:48	本日の議題は以上になりますが、
2:34:51	あとはシミズさん近いほうよろしくお願いします。
2:34:57	全体を通して何か確認事項等ございますでしょうか。規制庁側からも原燃側からも、
2:35:08	あと、
2:35:11	お願いします。本件の呼び名です、4連側からはございません。
2:35:19	イトウ特にないようでした。
2:35:22	本日のヒアリングをこれで終了したいと思います。
2:35:30	キクチ
2:35:32	舵本庁側のタジリさん録音の停止をお願いします。